

文化庁委託事業報告書

被災地方言の 保存・継承のための 方言の記録と公開3

2020年3月

東北大学大学院文学研究科

東北大学方言研究センター

令和元年度 被災地における方言の活性化支援事業
被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開
- 1名取市における市民団体の協力による方言の音声・映像資料 -

∥ 世界に発信! ∥
方言クッキング
～宮城県名取市の郷土料理～
Local cuisine of Natori City, Miyagi Prefecture introduced in the local dialect

* DVD・解説書 英語訳付き *
DVD and a commentary with English translation

おくずかけ
《Okuzukake》
Soy sauce flavored vegetable soup, thickened with starch powder.

茄子のずんだあえ
《Nasu-no-zunda-ae》
Steamed eggplant with seasoned edamame paste.

きしゃずいり
《Kishazu-iri》
Chopped vegetables, minced meat and okara (soy pulp) stir-fry.

●
●
●
●
●
●

榎引祐希子 (大阪教育大学)

「方言を語り残そう会」(宮城県名取市・代表 伊藤恵子)

2020年(令和2)年3月
東北大学方言研究センター

2019年度
気仙沼市方言調査
調査のしおり
東北大学国語学研究室

B3 東北花子

まえがき

本書は、2019（令和元）年度の文化庁委託事業「被災地における方言の活性化支援事業」のうち、東北大学方言研究センターが担当した「被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開」の報告書です。

当センターでは、震災発生直後から、被災地の方言をめぐるさまざまな問題に取り組んできました。その活動については、すでに次の8つの報告書に述べています。

『東日本大震災において危機的な状況が危惧される方言の実態に関する予備調査研究』（2011年度文化庁委託事業報告書）

『東日本大震災において危機的な状況が危惧される方言の実態に関する調査研究（宮城県）』（2012年度文化庁委託事業報告書）

『被災地方言の保存・継承のための方言会話の記録と公開』（2013年度文化庁委託事業報告書）

『被災地方言の保存・継承のための方言会話の記録と公開 2』（2014年度文化庁委託事業報告書）

『被災地方言の保存・継承のための方言会話の記録と公開 3』（2015年度文化庁委託事業報告書）

『被災地方言の保存・継承のための方言会話の記録と公開 4』（2016年度文化庁委託事業報告書）

『被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開』（2017年度文化庁委託事業報告書）

『被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開 2』（2018年度文化庁委託事業報告書）

今年度も、文化庁の事業方針「被災地域の方言の保存・継承の取組や方言の力を活用した復興の取組を支援することにより、被災地域の方言の再興及び地域コミュニティの再生に寄与する」ことを受け、気仙沼市における日常会話を踏まえた方言の記述と、名取市における市民団体の協力による方言動画の作成に取り組みました。

今回もまた、現地の方々にはひとかたならぬお世話になりました。特に、話者のみなさまには地元の方言についていろいろと教えていただいたり、郷土料理の実演に取り組んだりいただきました。また、気仙沼市における調査では、このたびも気仙沼市教育委員会生涯学習課の手厚いご支援をいただくことができました。名取市における方言動画の作成では、「方言を語り残そう会」（代表：伊藤恵子氏）の全面的なご協力を得るとともに、大阪教育大学の櫛引祐希子先生にすべての面倒を見ていただくことができました。お世話になったみなさま方に心より感謝申し上げます。

私たちのこの取り組みが、震災の困難の中にある“ふるさと”の再生に寄与できることを願っています。また、この報告書が多くの方々の目にとまり、被災地の方言の将来について考えるひとつのきっかけとなることを期待します。

それにしても、こうした文化庁の事業はたいへん貴重です。方言は地域の文化の根底にあるにもかかわらず、被災地の方言についての取り組みは途に就いたばかりといってよい状態です。いまだに多くの地域の方言が、保存・継承の取り組みを必要としています。文化庁には、今後もこうした活動への支援を期待したいと思います。

2020年3月11日

東北大学大学院文学研究科・
東北大学方言研究センター教授

小林 隆

【事業の概要】

1. 事業の目的

本書は、2019（令和元）年度の文化庁委託事業「被災地における方言の活性化支援事業」のうち、東北大学方言研究センターが担当した「被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開」の報告書である。

宮城県沿岸部の住民は東日本大震災を契機に、方言が地域の貴重な文化であり、復興への精神的な支えであることを強く認識し、その保存・継承を望んでいる。しかし、当該地域の方言は、震災の影響により衰退に向けた速度を速めつつある。地域住民の願いである方言の保存・継承のためには、その地域の方言の精密な記録や音声での保存が必要である。そのような趣旨に立ち、被災地の方言を記録し公開する企画を行うことにする。

2. 企画の概要

- (1) 気仙沼市における教育委員会との連携による方言の記述
 - ①宮城県内の方言区画を考慮し、北部の気仙沼市と、南部の名取市を具体的な対象地域とする。伝統方言の記録・継承のために、高年層を話者とする。
 - ②気仙沼市では、教育委員会との連携のもと、日常会話の収録作業を踏まえた臨地面接型の調査によりさまざまな角度から方言の記述を行う。
- (2) 名取市における市民団体の協力による方言動画の作成
 - ③名取市では、櫛引祐希子氏（大阪教育大学准教授）および市民団体「方言を語り残そう会」の協力のもとに、郷土料理の調理法を方言で解説する動画資料を作成し、英語翻訳も付して海外発信する。
- (3) 東日本大震災と方言ネットでの公開
 - ④上記②③の成果を報告書およびCDにまとめ、被災地の公共機関をはじめ方言の保存・継承に取り組む人や団体に配布する。
 - ⑤上記④の内容を東北大学で運営するホームページ「東日本大震災と方言ネット」にも掲載し、利用の拡大を図る。

3. 実施体制

代表者 小林 隆（東北大学大学院文学研究科教授）
幹事 小原雄次郎（東北大学大学院文学研究科大学院生）
ラマダニ・アッニサ・リズカ（東北大学大学院文学研究科大学院生）
齋藤すみれ（東北大学大学院文学研究科研究生）
協力者 櫛引祐希子（大阪教育大学准教授）
伊藤恵子（名取市方言を語り残そう会代表）

4. 協力機関

気仙沼市教育委員会生涯学習課
方言を語り残そう会（名取市）

2019（令和元）年度文化庁委託事業報告書
「被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開3」

目 次

まえがき

事業の概要

第1部 宮城県気仙沼市方言の調査報告

調査の概要.....	小林 隆 6
終助詞「モノ類」	小原雄次郎 9
方言小説に使用される「ペー」についての調査	ラマダニ・アッニサ・リズカ 19
LINE スタンプにおける気仙沼市方言の使用.....	齋藤すみれ 25
依頼と受託の言語行動.....	小林 隆 31
語りのデータから見た気仙沼方言	甲田直美 44

第2部 世界に発信！方言クッキング～宮城県名取市の郷土料理～

.....	櫛引祐希子・方言を語り残そう会 55
-------	--------------------

第1部

宮城県気仙沼市方言の調査報告

調査の概要

小林 隆

1 調査の目的

東北大学方言研究センターでは、学生たちが主体となって東日本大震災と方言をめぐる取り組みを行っている。被災地の方言会話を収録した会話集とCDの作成、インターネットを通じての公開はその成果のひとつである。被災地の方言を会話資料のかたちで残そうという取り組みは、7年前から始まった。その成果はこれまで次に上げる会話集としてまとめてきた。

『伝える、励ます、学ぶ、被災地方言会話集－宮城県沿岸15市町－』（2012年度）

※<http://www.sinsaihougen.jp/>センターの取り組み/伝える-励ます-学ぶ-被災地方言会話集/
『生活を伝える被災地方言会話集－宮城県気仙沼市・名取市の100場面会話－』（2013年度）
『生活を伝える被災地方言会話集－宮城県気仙沼市・名取市の100場面会話2－』（2014年度）
『生活を伝える被災地方言会話集－宮城県気仙沼市・名取市の100場面会話3－』（2015年度）
『生活を伝える被災地方言会話集－宮城県気仙沼市・名取市の100場面会話4－』（2016年度）

※<http://www.sinsaihougen.jp/>センターの取り組み/生活を伝える被災地方言会話集/

これらの取り組みの特徴は、地域の言語生活、すなわち、そこに暮らす人々の、言葉による生活の様子を、生き生きとしたかたちで後世に伝える記録を作りたいと考えた点にある。

そして、一昨年度からは以上のような方言会話資料を分析し、その結果を補完・発展させるための臨地面接調査を実施する段階に進んだ。方言の継承に向けた基礎作業としては、地域の実際の会話を記録することが必要であると同時に、その方言の言語としての特徴を分析的に把握することも重要である。昨年度と一昨年度は後者の課題の実践に取り組み、その成果を次の報告書にまとめた。

『被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開』（2017年度）

※<https://www.sinsaihougen.jp/>センターの取り組み/被災地方言の保存-継承のための方言の記録と公開/

『被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開 2』（2018年度）

※<https://www.sinsaihougen.jp/>センターの取り組み/被災地方言の保存-継承のための方言の記録と公開%EF%BC%92-1/

今年度は、こうした取り組みを継続することとした。

2 調査地域とテーマ

今年度の調査地域は宮城県気仙沼市である。昨年度、同市で行った臨地面接調査の結果を踏まえるとともに、これまで作成してきた気仙沼市の方言会話資料の中から具体的なテーマを発掘し、そ

の課題について面接調査を企画した。何をテーマとするかは、担当者それぞれの興味に従うことにした。

今回調査を行った具体的なテーマを紹介しよう。文法、語彙・表現、そして、言語行動・談話といった広い範囲から 11 の課題を選んでいる。担当者も合わせて示すことにする。

○文法

- ・条件表現（竹田晃子）
- ・「モノ」系終助詞の形態と用法（小原雄次郎）
- ・方言小説を使った「べー」の調査（ラマダニ・アッニサ・リズカ）

○語彙・表現

- ・感動詞「ダレ」の用法（坂喜美佳）
- ・LINE スタンプにおける方言の活用に関する調査（齋藤すみれ）

○言語行動・談話

- ・言語行動の特徴：退任した町内会長をねぎらう〈ねぎらう〉（大場鈴音、松本裕輔）
- ・言語行動の特徴：約束の時間に遅刻する〈謝る・言い訳する〉（加順咲帆、和村実咲、潘青）
- ・言語行動の特徴：ゴミ出しの違反を非難する〈非難する〉（尾崎誉治、郭莉、黒澤茉琴）
- ・言語行動の特徴：帽子をほめる〈ほめる〉（菅原万里花、鄧凌龍、千田到）
- ・言語行動の特徴：荷物運びを頼む〈頼むー受け入れる〉（小林隆、ペツェ・アーゴタ、王劭宇）

○談話

- ・語りのデータから見た気仙沼方言（甲田直美）

3 調査の担当者

上にテーマごとの担当者を示したが、その所属は次のようになっている。

教員：小林隆、甲田直美（東北大学）、竹田晃子（立命館大学）、坂喜美佳（仙台青葉学院短期大学）

大学院生・研究生：小原雄次郎、寺嶋大輔、ペツェ・アーゴタ、尾崎誉治、郭莉、菅原万里花、鄧凌龍、ラマダニ・アッニサ・リズカ、齋藤すみれ、潘青

学部生・聴講生：千田到、大場鈴音、加順咲帆、黒澤茉琴、松本裕輔、和村実咲、王劭宇

以上のように、東北大学文学研究科国語学研究室の大学院生・学部生を中心に、研究室 OB の研究者も参加して調査を企画・実施した。特に幹事・副幹事が全体を統括し、調査を導いた。今年度の幹事・副幹事は次のとおりである。

幹事：小原雄次郎

副幹事：ラマダニ・アッニサ・リズカ、齋藤すみれ

4 調査の方法

調査は上にも述べたように臨地面接調査の方式で行った。具体的なことは次のとおりである。

調査時期：2019年8月1日～8月3日

調査場所：気仙沼市民会館

話者：高年層（60歳代～80歳代）34名

調査協力機関：気仙沼市教育委員会生涯学習課（幡野寛治氏、鈴木志穂氏）

気仙沼市民会館（春日敏春館長）

調査の実施にあたっては、話者の推薦から日程の調整、調査会場の確保に至るまで、気仙沼市教育委員会生涯学習課から多大なご支援をいただくことができた。また、気仙沼市民会館には調査会場の借用等でたいへんお世話になった。さらに、話者の方々にはご多忙の中、会場まで足を運んで調査に応じていただいた。これらの方々のご協力なくしては、この調査は実現しなかったと言ってよい。ここにあらためてお礼を申し上げ、感謝の意を表する次第である。

5 報告書の作成

この報告書は、各テーマの担当者が執筆を行ったものである。ただし、全体をまとめきることはできなかったため、それについては今後を期すことにした。

また、成果報告のための費用は令和元年度被災地における方言の活性化支援事業「被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開」から支援を受けている。

なお、気仙沼市方言については、一昨年度・昨年度の成果である『被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開』『被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開 2』のほか、かつて次の調査報告を行っている。

小林隆編（2012）『宮城県・岩手県三陸地方南部地域方言の研究』東北大学大学院文学研究科
国語学研究室

この成果は、次の報告書の中にも収められている。

東北大学方言研究センター（2012）『東日本大震災において危機的な状況が危惧される方言の実態に関する予備調査研究（文化庁委託事業報告書）』東北大学大学院文学研究科国語学研究室

今回の調査は、以上の内容を補完する位置付けにあるものとも考えることもできる。合わせてご覧いただくことを期待したい。

終助詞「モノ類」

小原 雄次郎

1 はじめに：調査概要

ここでは終助詞「モノ類」について報告する。終助詞「モノ類」とは、共通語で「だって女の子だもん」と言った際の「もん」に当たる終助詞である。共通語では「もの」と「もん」の2つの形態が見られるが、気仙沼市方言を含め、東北方言では「モノ、モン、オン、オ」など、多様な形態が見られる。また、形態が多様なだけでなく、形態の違いによって用法が分化していることが藤原与一（1986）などに指摘されており、その点について、小原雄次郎（2016a, 2017）は、『生活を伝える被災地方言会話集』（東北大学方言研究センター2014, 2015, 2016）の用例を分析し、「モノ、モン」は理由を提示する用法に、「オン、オ」は理由を提示しない用法に現れる傾向があることを確認した。

本調査も、終助詞「モノ類」の形態と用法の関係について分析することを目的としているが、本年度の調査では、昨年度と同様に「理由を提示する用法」を中心に面接調査を行っている。形態的には「モノ、モン」として現れるものが対象である。「理由を提示しない用法」（および「オン、オ」という形態）については、本年度も調査の対象としなかった（ただし「オネ」と「ベオン」については調査している）。理由を提示しない用法を調査の対象から外したのは、この用法および形態を使用しない話者が一定数おり、さらにこの用法の出現条件が未だ判然とせず、過去の面接調査では用例を引き出すことができなかったためである。この点については今後の課題としたい。

以下では、面接調査の結果をもとに「モノ類」の理由を提示する用法について考察していく。焦点となるのは「モノ類」と「カラ/ガラ」のような汎用的な形式との違いがどこにあるかについてである。

2 調査結果とその考察

2.1 話者と調査法

本調査は、2019年8月1日～3日にかけて気仙沼市市民会館で行った。話者は気仙沼市生え抜きの3人（D、E、F）である。今年度は、昨年度と同じ調査票を用いているため、昨年度の調査結果（話者A、B、C）もあわせて見ていきたいと思う。話者のうち、Dは旧唐桑町出身で、それ以外は合併前の旧気仙沼市の出身である。

話者A：1942年生まれ（調査時76歳）、女性 [2018年度調査]

話者B：1941年生まれ（調査時77歳）、女性 [2018年度調査]

話者C：1942年生まれ（調査時76歳）、女性〔2018年度調査〕

話者D：1944年生まれ（調査時74歳）、女性〔2019年度調査〕（唐桑町）

話者E：1950年生まれ（調査時69歳）、女性〔2019年度調査〕

話者F：1951年生まれ（調査時68歳）、**男性**〔2019年度調査〕

調査票は、共通語翻訳式の質問2題を除き、すべて場面設定発話式である。場面設定発話式では、話者に特定の会話場面を説明し、そのような会話場面で話者が話し手となった場合に、聞き手に対してどのような発話を行うかを訊ねている。

2.2 共通語翻訳式

共通語翻訳式の調査(1)(2)は、『方言文法全国地図』(GAJ)第1集33図・37図の追跡調査である。(1)の「雨が降っているから(行くのをやめろ)」では「カラ」のみが出現しているが、(2)の「子どもなので(わからなかった)」では「カラ」に加えて「モノ」も現れている。

(1) GAJ第1集33図の追跡調査①：「雨が降っているから(行くのはやめろ)」〔本調査では「降っている」の部分が「降る」や「降ってくる」になっている場合がある。〕

A：アメ フツ**カラ**、イグノ ヤメタホー イーゴッテ。

B：キョーワ アメ フツ**カラ**、ムリシテ イガナクタッテ イーンデネースカー。

C：アメ フツ**カラ**、ヤメダラ イーツチャ。

D：アメ フツ**ケツカラ** ヤメベ。

E：アメ フツ**ケツカラ** イグノ ヤメタラ イーツチャ。

F：アーメ フツ**ケツカラ** イグンスナ。

(2) GAJ第1集37図の追跡調査②：「子どもなので(わからなかった)」

A：ワラスダ**ガラ**、マダ ワガンネーヨネ。

B：コドモダ**モノ**、ワカンナインデナイノー。

C：マダ ガキダ**カラ**。

D：マダ チツチェー**カラ**ッサー ワガンネーノ アダリメーダヨ。

E：ワラスダ {ガラナー/モノナー} マダマダ ワガンネーベカラ シャーネーガナ。

F：ワラスダ**モノ** スガダネツチャ。

この調査結果(1)(2)と『方言文法全国地図』(GAJ)の分布、および「全国方言分布調査」(FPJD、国立国語研究所、2010-2015)の分布とを併せて表記したものが、次の表1である。この表1からも分かるように、気仙沼市では33図と37図で「カラ/ガラ」が広く現れており、これがこの地域の汎用的な形式であることがうかがえる。一方「モノ類」は37図に現れるのみであり、

表1 GAJ (第1集) の33図と37図の追跡調査

地点		33図	37図	
『方言文法全国地図』(GAJ)		ガラ	ガラ	ノデ
「全国方言分布調査」(FPJD)		カラ	—	
2018年度調査	話者A	カラ	ガラ	
	話者B	カラー		モノ
	話者C	カラ	カラ	
2019年度調査	話者D	カラ	カラ(ッサー)	
	話者E	カラ	ガラ(ナー)	モノ(ナー)
	話者F	カラ		モノ

その37図での専用形式でもないため、使用域が限定的な形式であると考えられる。

このような出現傾向が見られるのは気仙沼市に限ったことではない。次の表2は、東北地方において「モノ類」が現れる6地点の形式をまとめたものである。

表2 『方言文法全国地図』(第1集) の33図と37図にみられる「モノ類」

地点	33図	37図	
a. 青森県六ヶ所村	ステ	ステ	モ
b. 岩手県種市町	ガラ	ヘーデ	モノ
c. 岩手県釜石市	カラ	ガラ	モノ
d. 岩手県大船渡市	カラ	ガラ	モノ
e. 秋田県東由利町	ヒェンデ	ヒェンデ	モノ
f. 山形県寒河江市	ガラ サゲ	ガラ	モノ

この表2から分かるのは、それぞれの地点の汎用的な形式(「ステ」や「カラ/ガラ」など)が概ね両図で出現しうるのに対して、「モノ類」は37図にしか現れず、さらに37図においても常に汎用形式と併用されているという点である。気仙沼市と同様に、これらの地点でも「モノ類」の使用域が限定的であることがうかがえる。

では、理由を提示するために、汎用的な形式ではなく、「モノ類」を使用するとき、そこにはどのような条件があるのだろうか。以下では、場面設定発話式の調査によって、気仙沼市の汎用形式「カラ/ガラ」と「モノ類」との使用域の差について考えたいと思う。

2.3 場面設定発話式調査

2.3.1 命令の理由(根拠)を提示する表現

まずは『方言文法全国地図』(GAJ) 33図の「雨が降っているから(行くのはやめろ)」(上掲の(1)を参照)のように、理由を提示した上で命令(指示)を出すタイプの表現、別の言い方をすれば、話し手が聞き手に命令する際にその理由(根拠)を提示するタイプの表現を見ていきたい。

次の(3)は、雨が降るので傘を持っていくようにと聞き手に命令(助言)する場面である。

(3) 天気予報では午後から雨が降ると言っています。{夫/妻}は天気予報を見ていないので、傘も持たずに出ていこうとしています。天気予報のことを教えてから傘を渡すとすれば、どのように言いますか。

A:アレ ゴゴカラ アメ フルツツ**カラ** カサ モッテイッタホー インデネーノ。

B:テンキヨホーダト アメダト イッテダ**カラ** モッタホーガ イー。

C:カサ モッテ イガインヨ。テンキヨホーデ アメダッテ ユッテタ**ガラ**。

D:アノネ ゴゴ オシルスギガラ アメ フツツ**ガラ** アンダ ワッセネーデ カサ モッテ
ガイン。

E:ゴゴカラ オラサマアメ フルツツ**カラ** カサ モッテイガイン。

F:テレビノ テンキヨホーデサ ナンダカ アメ フッテクルッテ イッテタ**カラ**ッサ ア
ノー チャント カサ モッテケヨ。

全ての話者が「カラ/ガラ」を用いている。この場面では「傘を持っていけ」という命令(助言)をする際に、その理由として「雨がふる」ということを述べている。話し手と聞き手との間に認識のずれなどの対立的な構造は文脈の中に含意されていない。また、この「カラ/ガラ」を含む文は主節に従属しており接続助詞として機能している。

次の(4)は、話し手が聞き手に玄関を整理するように命令する場面である。その理由として、もうすぐ客が来るということを述べている(この調査は本年度のみである)。

(4) もうすぐお客さんがやってくるのですが、{夫/妻}が玄関の近くで何かの整理をしているのか、色んなものを散らかしています。あなたは{夫/妻}にそれらのものをすぐに仕舞うように言ってください。

D:イマ ヨソノ ヒト クツ**カラ** カタズケライン。

E:モー スコシデ トモダチ クツ**カラ**サー カタズケテケロ。

F:オキヤクサン クツ**カラ** ハヤグ カタズケネド オシヨスイツチャ。

この(4)も(3)と同様のタイプの表現であり「カラ」が用いられている。このタイプの表現を少し変形させたのが、次の(5)である。(4)では先に理由を述べていたが、(5)では先に命令を下している(この調査は昨年度のみである)。

(5) {夫/妻}が玄関の近くで何かの整理をしているのか、色んなものを散らかしています。あなたが{夫/妻}にそれらのものをすぐに仕舞うように言うと、{夫/妻}は「どうして?」と訊ねてきたので、もうすぐお客さんがやってくると伝えてください。

- A：イマ オキヤクサンガ クツカラ。
 B：キョーネー トモダチ クルノッサー。
 C：サッサト カタズケライン、オキヤクサン クルンダカラ。

文末部分に「カラ」や「ノッサー」が表れているが、このような応答文の文末に現れる「カラ」を接続助詞ととるか終助詞ととるかについての判断は保留するが、聞き手の質問への応答という点で、聞き手への志向性が高まっており、終助詞的な性格をもっていると考えられる。Bの話者に「ノッサー」が表れている点もその証左となるだろう。

次の(6)(7)は、(4)(5)と同様に、理由を述べてから命令するか、命令してから理由を述べるかによって対比させたものであり、(6)は接続助詞の構造(従属節構造)になり、(7)は終助詞の構造(文末表現)になる。

- (6) あなたが居間のテーブルのそばを通ったとき、テーブルの端に置かれていた湯のみを引っかけて危うく倒すところでした。テーブルの端に湯のみを置くのは危ないですが、{夫/妻}は何か夢中でそのことに気づいていない様子です。湯のみを端に置かないように、{夫/妻}に言ってください。

- A：アレ ナンダベ ハジッコサ オグド アダッデ アブナイ**ガラ** マンナカニ オイタホーインデネーノ。
 B：ソナ ハジッコサ オイタラ オトスンデナイスカー。マンナカサ オイテタラ インデネ。
 C：コボス**ガラ** ハジッコニ オカナイデ。
 D：アンダ ソコサ オチャッコ オイダラバ オレ ソコサ シッカカルカモ シャネツ**カラ** アンダ チャント マンナガサ オガイン。
 E：ワタシ ブツカッテ コボシテシマウ**ガラ** スコシ オクノ ホーサ オツツケランヤ。
 F：ソゴニ オイダラ ツマズイテ スズ コボレタリ スツ**カラ** アブネベツチャ。

- (7) 湯のみをテーブルの端に置かないように、{夫/妻}に言うと、「どうして?」と聞き返してきたため、その理由を説明してください。

- A：ダレ ハジニ オイデ アブネー**モノ**。
 B：イツツモ コボシテツ**カラ**サー。
 C：プリントニ シミ ツグ**カラ**。
 D：フンダカラ イッタガスッペド ソコ アルイダラ ブツツカッタラバ チャワン ヒツクリゲース**ガラ**。
 E：ブツツカッテ コボレット ヒドイ**カラ**。
 F：ナーニ タタミ ヨゴレテシマウベツ**チャ**。

従属節構造になる(6)では「カラ/ガラ」が見られ、文末表現になる(7)では「カラ・ガラ」に加え、Aの話者に「モノ」、Fの話者に「チャ」が表れている。しかし、(7)でも「カラ/ガラ」を用いている話者の方が多く、「モノ」の使用域が限定的であることをうかがわせる。次節では、終助詞「モノ類」が出現しやすい会話場面を提示し、「モノ類」の使用にどのような条件があるのかを考えてみたい。

2.3.2 「モノ類」が出現しやすい会話場面

本節では終助詞「モノ類」が出現しやすい会話場面を見ていこうと思う。この会話場面の設定にあたっては、『生活を伝える被災地方言会話集』（東北大学方言研究センター 2014、2015、2016、2017）と「話し方の全国調査」（東北大学方言研究センター、2015）のデータを利用した。これらのデータの中で終助詞「モノ類」が出現している場面を分析し、面接調査に利用しやすい形に手を加えるなどして会話場面を作成している。

次の(8)は、話し手が聞き手に反論する会話場面である。A～Cの話者に「モノ類」が見られ、DとEの話者に「カラ/ガラ」が見られる。

(8) あなたは炎天下の中を歩いて買物に行ってきました。家に帰っても体がほてっていたので、少し強めに冷房をつけました。車で帰ってきた{夫/妻}が「どうして冷房の温度をこんなに下げているの」と聞くので、教えてください。

A：ダレ コノ アズサノナガ アルツテキタンダ**モノ**。

B：ダーレ アツイ {デバー/**モノ**}。

C：ダツテ アツクテ シニソーダ**モン**。

D：ダレー オラ アズイトコ アルツテ キタンダ**カッサ** ナンボ ナンダツテ モー スコス スズシク シテケライン。

E：ヨータシ シテ カエツテキタツケー アズグテ ワガンネー**ガラ** イマ ツケタバリナノニ ソンナニ サムイスカ。

F：ダレ オメ ホレ アノヨータシデ イマ ズーット ソトニ イタツ**キャ**。

この会話場面では、聞き手の「どうして冷房の温度をこんなに下げているの」という質問に対して、話し手が反論する形で応答する。A～Cの話者はその際に「モノ類」を用いており、これらの文では「モノ類」が文末表現になっている。DとEの話者は「カラ/ガラ」を従属節構造の中で用いている。この例から、反論をする際の終助詞に「モノ類」が出現しやすいことがうかがえる。

次の(9)は、宴会で歌を歌わなかった理由を述べる会話場面である。C、D、Fの話者に終助詞「モノ類」が表れている。

(9) あなたは歌を歌うのは好きですが、大勢の前で歌うのは少し苦手だとします。宴会でマイクを渡されたものの、断ってしまいました。後で友人に「どうして歌わなかったの」と聞かれたので教えてください。

A : ナンダカ トシトツタツケ、コエ デナクナツタ**カラ**。

B : ダーレ アダシ ウダツタコトナイ**シー**。

C : ヒトガ イッパイダ**モン**。アガッテシマウヨ。

D : ダレッサ オラ ウダッコ ウダツタコト ネー**ガラ** ナニ ウダツタラ イーガ ワガン
ネー**モノ**。ダカラ ウダンネンダヨ。

E : オラ トツテモ オショスクテ ウダエネー**シ** アンマリー アノー テレビデモ ソノ
オンガクノ バングミナンカモ ホトンド ミネー**ガラ** オラワ ヨグ ワガンネー**ガラ**
モーシワケネー**ット** オラ ウタッコ ウタエネーヤ。

F : オラ オショスクテ ウタワレネー**デバ**。オンチダ**モノ**。

この会話場面でも「モノ類」と「カラ/ガラ」が表れている。まず、話者Eの「ガラ」は従属節構造に現れており、終助詞でないことが指摘できる。次に、終助詞のように文末に現れる「カラ」と「モノ類」を比較すると、「カラ」を用いている話者Aは「コエ デナクナツタカラ」と述べているが、その理由から、話者Aは歌いたくない訳ではなく、歌えないということが読み取れる。一方、話者Cは「ヒトガ イッパイダモン」と述べ、話者Fは「オンチダモノ」と述べており、両者は本来歌うことにあまり積極的ではない、もしくは歌うことを拒否していると、とることもできる。ここから拒否または断りの言語行動では「モノ類」が表れやすいとも考えられそうである。

次の(10)は断りの場面である。温泉旅行への誘いを断る際に、話し手がその理由を述べている。

(10) 町内会の温泉旅行があります。近所の知り合いと一緒に参加しようと誘われましたが、その日は甥の結婚式があります。断る場合はどのように返事をしますか。

A : オズガイ (招待) モラッテ**ツカラ**。

B : ダレー イガレネー。ダメダー。オイッコノ コンレイサ ブツカッタ**モノー**。

C : ソノヒワ トックニ ヨテー ハイッテ**ツカラ** アトノ ヨテー イレラレナイヨ。

D : アノッサー オライデ マゴ ナニー ケッコンシキー ア**ツカラ** オラ イカレネー**デバ**。

E : ナニー ワダシ イガナグタッテ イガスト。アンタ イッテ**ダイ**ンヤ。

F : (前略) ソノ ヒサー オライノ マゴーノ ヨージデサー アノー ナー ナー**ジョ**
シテモ ツゴー ツカネー**ノヨ**。ダカラ コンド モーシワゲ ネーケドサー オレド
ーシテモ イゲネー**ガラサ** アンター イッテケロヨ。

この会話場面では話者Bのみが「モノ類」を文末に用いている。「カラ/ガラ」は、話者C、D、Fが従属節で用い、話者Aが文末に用いている。文末で用いられている話者Aの「カラ」と話者Bの

「モノ類」を比較すると、「モノ類」を用いている話者Bは最初に「ダレー イガレネー。ダメダー」と残念がっており、それに続けて行けない理由を述べている。「モノ類」自体も「モノー」と長音化しており、何らかの情緒的意味が付与されていると考えられ、今後の調査の際に「残念そうに断る」という指示を調査文に付与すれば調査結果が変化する可能性がある。

(11) は聞き手の推測を否定する場面である。知り合いから傘を忘れたのではないかと訊ねられたのに対して、話し手は持っていると述べる。この調査は2段階で行っており、最初は(11)の調査文を用いて訊ね、続けて次に、知り合いが「絶対に〇〇さんのだ」と強く主張した場合にどのように返答するかを訊ねている。(11)の回答は2段階目のもの(強く主張した場合)である。

(11) あなたは町内会の集まりに出席しました。帰ろうとすると、近所の知り合いが、ただ傘を振りながら「(話者)さんのでしょ」と大きな声をかけてきました。どうやら傘の忘れ物があったようです。ご自身の傘を示しながら、それがあなたの傘でないことを述べてください。

A : オレンナ コレ モッテツカラ。

B : ワタシワ コレ ジブンノ モッテツカラー。

C : ワタシ モッテツカラ。

D : アッカベツチャ ココニ。オレンナデ ネーヨ。オレンナ ココニ アルヨ。

E : ダレ オレンナ ココサ アルモン。

F : イヤイヤ ホイズ チガウデバ。オレノデネーデバ。

この場面では、「モノ類」を用いているのは話者Eのみである。聞き手の主張を強く否定する場面であるため、「モノ類」が出やすいのではないかと考えたが、このように存外に少ないのは、聞き手が好意で言ったことを否定する際にはやや使いにくいのではないかと考えられる。

次の(12)も聞き手の推測を否定する場面であるが、聞き手に対して不快に思っている点が大きく異なっている。

(12) あなたは居間のテーブルに置いたはずのカギを探しています。{夫/妻}に「居間のテーブルにカギを置いていたはずなんだけど知らないか」と尋ねると、{夫/妻}は「テーブルに置いたならテーブルの上にあるだろう」と言われました。あなたはカギを探して疲れていたこともあり、少し不快になりました。「あると言われてもない」と反論してください。

A : インダッテ、アルッテ イワレデモ ネーモノー。

B : ナンダベ、ナイガラ キーテンノニー。ナインダデバ。

C : ナンボ サガシテモ ネーモノ。

D : ナンカイ カダッテモ ワカンネーノスカ。ネー モノワ ネーデガス。

E：ホンダッテ ホンナモノ ネー**モノ**。

F：ナイモナー ネー**ンダ**。ナンボ ホンナコト イワレタッテ。

今回は話者A、C、Eに「モノ類」が表れている。聞き手に反発を感じている場合は、臆せずに聞き手の発話（推測）を直接的な表現で否定するようである。(12)では理由が明示的に提示されていないが、この表現の背後に「そんなこと言ったってないよ。だってないもの」のようなトートロジー的な表現を仮定すると、理由を提示する用法の派生的な用法として捉えられそうである。

次は、聞き手を褒める会話場面についてである。褒める場面では「モノ類」が出現しなかったため、話者AとBに対して、「相手が謙遜した場合」について補足質問を行っている。(13)はその補足質問の回答である。

(13) 近所の知り合いが、NHKの「のど自慢大会」に出て優勝しました。あなたはその様子をテレビで見たとします。あなたも、その人がうまいと前から思っていました。あとで、その人に会ったので、のど自慢大会のことで声をかけようと思います。何と言いますか。

A：マダ ソンナコトバリ ユッテ。ジョーズダッタ**ツチャー**。

B：ナニー アンダ イッツモ ウタッテ ウマイ**モノ**。ミンナオ ヨロコバセル**モノ**。
タイシタ モンデガスー。

話者Bが聞き手の発話（謙遜）を否定するために「モノ類」を用いている。聞き手の発話を否定するという点で(11)～(13)は、会話場面の構造が類似している。(13)は(12)と同様に理由が非明示的であるが、「そんなことはない。だってうまいもの」のように「そんなことはない」という表現を補うことでこれも派生的な用法とみなせるだろう。また、この会話場面のように聞き手に益する発話を行う場合は、聞き手の発話を否定しても問題がないようである。

最後の(14)は、不満を述べる表現である。不満を抱く対象の人物はその場にいないため、聞き手に対する不満ではない。

(14) あなたは{夫/妻/近所の知り合い}と町内会の集まりに来ています。始まる時間になりましたが、まだ来ていない人がいるため、いつまでたっても始まりません。来ていない人は、いつもきまって遅刻しています。その人がいつも遅れるため困ると、隣にいる{夫/妻/近所の知り合い}に述べてください。

D：イッツモ ナニ ヤッテンナモンダガ。イッツモ オソインダ**モノ**。

調査では話者Dにのみ「モノ」が表れた（他の話者では「オネ、ヨナー、ネー、ベツチャー」のような確認要求表現が表れている）。このように不満を示す用法は、共通語でもよく見られるものであるが、話し手の情緒的意味のみを伝える点で「モノ類」の他の用法との間に距離がある。

3 調査結果のまとめ

今回の調査では昨年と同様に終助詞「モノ類」の用法のうち、理由を提示する用法に焦点を絞って調査を行った。終助詞「モノ類」は、「カラ/ガラ」のような汎用的な形式よりも出現数が少なく、出現する会話場面に一定の傾向性が見られた。このことから、終助詞「モノ類」の使用には何らかの制約的な条件があると考えられる。

今回の調査結果について、現時点ではまだ整合的な説明を行うことはできないが、いくつか考慮すべき点を述べておきたい。まず、この問題の出発点である(2)の「子どもなので(わからなかった)」において「モノ類」が出現しやすいという傾向について考えておかなければならない。このような文では「子どもというものは(一般に)それがわからない」「子どもだから(当然)それがわからない」といった一般性や自明性を含ませた解釈が可能であり、そのため、形式名詞「もの」に由来する終助詞「モノ類」が用いられたと考えられそうである(坪井由香子 1996、小原雄次郎 2016b も参照)。

しかし、それだけでなく、言語行動の観点から見ると、この文は子どもを擁護する視点で発言していると解釈でき、実際(2)でも「シャーネーガナ」や「スガダネッチャ」という表現が表れている。擁護という言語行動には、聞き手に対する一種の反論が含まれており、異なる認識をもつ聞き手に対して理由を述べるという働きがあると考えられる。

結局、終助詞「モノ類」の働きは何であろうか。話者に「モノ」と「カラ」とがどのように異なるかを訊ねると、「モノ」の方が意味が強いと答える場合がある。確かに、「モノ」は「カラ」を強調したものだと考えれば、簡単に説明がつきそうであるが、結局「強調」というラベルを張っただけで問題は依然解決されていない。そのようなこともあり、2.3.2 節では終助詞「モノ類」が出現しやすい会話場面を個別に考察することで、「モノ類」が出現しやすい条件を探ってみた。その結果、出現条件の中には、聞き手との認識のずれや不満のような情緒的意味が関わっていることが見られた。それらがどのように対応しているかについては、今後さらに考察する必要がある。

文 献

小原雄次郎 (2016a) 「宮城県方言におけるモノ系終助詞の形態と用法」『日本方言研究会第 103 回 研究発表会発表原稿集』、於東北文教大学

小原雄次郎 (2016b) 「終助詞「もの」の意味と用法の派生」『言語科学論集』(東北大学大学院文学研究科言語科学専攻) 第 20 号

小原雄次郎 (2017) 「宮城県方言におけるモノ系終助詞の形態と用法」『国語学研究』(東北大学文学研究科「国語学研究」刊行会) 第 56 号

坪井由香里 (1996) 「終助詞・接続助詞としての「もの」の意味－「もの」「ものなら」「ものの」「ものを」－」『日本語教育』91

藤原与一 (1986) 『方言文末〈文末助詞〉の研究(下)』春陽堂書店

方言小説に使用される「べー」についての調査

ラマダニ・アッニサ・リズカ

1 調査の内容

筆者は小説における方言の使用について関心をもち、研究を行っている。小説の方言は現実の方言とは必ずしも同じではなく、そこに文学の世界独自の方言の利用のされ方が見えると考える。こうした考察を行うためには、まず、小説の方言使用が現実のものとはどう異なるのか、その実態を明らかにすることが前提となる。

ここでは、ひとつの事例研究として、井上ひさしが書いた『青葉繁れる』(1973)における「べー」の使用について見ていく。『青葉繁れる』は気仙沼ではなく仙台が舞台であるが、今回、気仙沼調査に参加するにあたり、『青葉繁れる』とこの地域の「べー」の使用の相違をテーマとすることにした。おそらく気仙沼方言の「べー」の形態・用法は、基本的には仙台方言のものと変わらないと考えられるが、この点は慎重に見ていく必要があるだろう。

調査の方法としては、『青葉繁れる』における「べー」の用例を話者に見せ、その使用が話者にとって自然か否かを尋ねた。また、不自然さを感じる場合、それに代わる自然な言い方を回答してもらった。本調査は高年齢層の3名(男性2名、女性1名)に対して行った。

調査内容は「べー」の形態と用法の両面にわたるが、このうち、用法については用例の意味を話者に正しく理解してもらうことが難しく、正確な判断が得られたかどうか不安が残る。そこで、ここでは形態や接続の問題についてのみ取り上げることにしたい。

まず、調査項目を掲げる。「:」のあとの形態は『青葉繁れる』に現れるものであり、話者にその使用を確認した。

1. 動詞+「べー」

- 1.1. 五段活用「帰る」:「帰っぺ」
- 1.2. 五段活用「行く」:「行くっぺ」
- 1.3. 五段活用「済む」:「済むっぺ」
- 1.4. 五段活用「なる」:
 - ①「なるっぺ」
 - ②「なるべ」
- 1.5. 五段活用「思う」:「思うべ」

1.6. 上一段活用「見る」：「見っぺ」

1.7. 下一段活用「逃げる」：「逃げっぺ」

1.8. サ行変格活用：「断言すっぺ」

2. 助動詞＋「べー」

2.1. 「でがす」＋「べー」：

①「おるんでがすべ」

②「なるんでがすべ」

2.2. 「た」＋「べー」：

①「惜しいことしたっぺ」

②「なんつごったべや」

2.3. 「のだ」＋「べー」：

①「わからねんだべか」

②「くるんだっぺね」

2.4. 「じゃない」＋「べー」：

①「当っているんじゃないっぺか」

②「変ではなかつぺか」

2.5. 受け身＋「べー」：

①「叱られっぺ」

②「怒られるっぺ」

3. 形容詞＋「べー」

3.1. いい＋「べー」：

①「ええべねす」

②「よかんべ」

③「よかつぺ」

④「いがっぺ」

⑤「いいっぺっちゃ」

3.2. 悪い＋「べー」：「悪いっぺ」

4. 形容動詞＋「べー」

①「危篤だっぺ」

②「だめだべっちゃ」

5. 名詞だ＋「べー」

- ①「間抜けぞろいだっぺ」
- ②「次だっぺ」
- ③「なんだべっしゃ」(疑問詞)

2 調査の結果

本調査における結果を簡単にまとめてみる。以下の表は、本調査票における質問に回答してもらった話者の性別・年齢の情報とともに、判定の結果を示したものである。質問に対して「言う」「自然」と回答した場合（○）で示し、「言わない」「不自然」は（×）、「決して不自然なわけではないが、よりよい使い方がある」という回答は「△」とした。

質問 1. 動詞+「べー」									
話者	1.1	1.2	1.3	1.4		1.5	1.6	1.7	1.8
				①	②				
男性、68歳	○	×	×	×	○	○	○	○	○
女性、77歳	○	×	×	×	○	○	○	○	○
男性、81歳	○	△	×	×	○	○	○	○	○

質問 2. 助動詞+「べー」										
話者	2.1		2.2		2.3		2.4		2.5	
	①	②	①	②	①	②	①	②	①	②
男性、68歳	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×
女性、77歳	○	○	×	○	○	×	×	×	○	×
男性、81歳	○	○	×	○	○	○	×	×	○	×

質問 3. 形容詞+「べー」						
話者	3.1					3.2
	①	②	③	④	⑤	
男性、68歳	×	×	×	○	×	×
女性、77歳	×	○	×	○	×	×
男性、81歳	×	×	○	○	×	×

質問 4. 形容動詞+「べー」		
話者	①	②
男性、68 歳	○	○
女性、77 歳	×	○
男性、81 歳	○	○

質問 5. 名詞だ+「べー」			
話者	①	②	③
男性、68 歳	○	○	○
女性、77 歳	×	×	○
男性、81 歳	○	○	○

3 結果からの考察

以上の結果から、『青葉繁れる』における「べー」の形態・接続に対して、話者がいくつか「言わない」「不自然だ」と回答していることがわかる。

まず、実際の「べー」の形態・接続がどうであるかは玉懸(2010)や『方言文法全国地図』を参考にする。玉懸は、「べー」が「ペー」という形をとる場合のあることを指摘するが、これは、前接する動詞・助動詞の終止形がル語尾を持つ場合に起こる現象である。つまり、前接の動詞・助動詞の終止形がル語尾を持つものである場合、ルが促音便化し、「べー」は「ペー」という形をとることが多いのである。ただし、これは義務的なものではなく、そのままの「べー」の形もまた通用する。

これに照らし合わせてみると、『青葉繁れる』では、まず、「1. 動詞+「べー」」のグループの1.2「行くっぺ」と1.3「済むっぺ」が「行く」「済む」とル語尾を持たない語であるにもかかわらず「べー」が接続していてイレギュラーである。案の定、これらに対する話者の判定はほぼ「×」になっている。また、1.4「なるっぺ」はル語尾を持つ「なる」に「べー」が接続するケースであり、このような場合、ルが促音便化して「なっぺ」となるか、そのまま「なるべ」となることが予想される。話者の回答もそのような判定になっており、「なるっぺ」は「×」、「なるべ」は「○」とされている。1.1「帰っぺ」、1.6「見っぺ」、1.7「逃げっぺ」、1.8「断言すっぺ」は規則に従った形態であり、話者もすべて「○」と回答している。1.5「思うべ」はル語尾でない動詞であり、規則に従った形態である。

次に、「2. 助動詞+「べー」」のグループのうち、2.5「叱られっぺ」「怒られるっぺ」は、ただ今のル語尾の規則に従えば、前者は「○」、後者は「×」と判定されるはずである。結果は一部のずれはあるものの、ほぼそのように現れている。また、2.2「惜しいことしたっぺ」「なんつごったべや」については、『方言文法全国地図』第5巻239図「行っただろう」を参考にすると、宮城から岩手

にかけては「イッタベ」であり、「イッタッペ」は福島南部から茨城・千葉にかけての地域となっている。このことを反映して、今回の結果では「なんつごったべや」は「○」が3つ揃ったが、「惜しいことしたっぺ」は「×」が優勢となっている。また、2.3「わからねんだべか」「くるんだっぺね」については、『方言文法全国地図』第5巻238図「行くのだろう」を見る限り、「イグンダベ」が主流であり、「イグンダッペ」はやはり福島南部から茨城・千葉にかけて地域である（この点は、第3巻149図「静かだろう」や第5巻240図「雨だろう」の分布もほぼ同様である）。したがって、「わからねんだべか」は「○」、「くるんだっぺね」は「×」となることが予想されるが、結果はほぼそのようになっている。

2.4「当っているんじゃないっぺか」「変ではなかつぺか」については、『方言文法全国地図』第3巻142図「高いたらう」を参考にすると、宮城県はだいたい「タゲァーベ」「タゲァガンベ」であるが、岩手に入ると「タガガンベ」も現れてくる。しかし、促音形の「タカカッペ」は福島南部や茨城・千葉であり、宮城・岩手には見当たらない。そのためであろう、2.4の回答はほぼ「×」になっている。2.1「おるんでがすべ」「なるんでがすべ」は気仙沼でも使用される形式であり、「○」の判定がされている。

次に、「3. 形容詞+「べー」」のグループでは、「3.1「ええべねす」「よかんべ」「よかつぺ」「いがっぺ」「いいっぺっちゃ」」で5つの形態を確認しているが、上の方言地図の情報などから予想されるのは「イーベ（エーベ）」ないし「イガンベ（エガンベ）」などであり、東北大学方言研究センター（2019）の気仙沼の会話では「イーベ」のみが使用されている。ところが、上記の話者の回答は、「いいっぺっちゃ」がすべて「×」である点は予想どおりであるが、「ええべねす」も同様に「×」である点は予想外である。その他、これら5つの形態についての話者の判定は、今のところ十分解釈できない点が残る。なお、「3.2「悪いっぺ」」が「×」であるのは、「いいっぺっちゃ」と同様の結果である。

最後に、「4. 形容動詞+「べー」」と「5. 名詞だ+「べー」」は先の「くるんだっぺね」と同様の傾向を示すことが予想される。結果を見ると、まず、「危篤だっぺ」「だめだべっちゃ」については、後者がすべて「○」になっているのは予想通りとして、前者も2つ「○」であるのは予想と異なる。この点は、「間抜けぞろいだっぺ」「次だっぺ」「なんだべっしゃ」の「○」「×」の分布も同様である。ちなみに、東北大学方言研究センター（2019）の気仙沼の会話には「だっぺ」は1例も使用されていない。「だっぺ」の形が実際に気仙沼（や仙台）で使用されているのか、2名の話者が「○」を付けたことについては慎重に検討する必要がある。

4 おわりに

以上述べてきたように、井上ひさし『青葉繁れる』における「べー」の形態・接続は現実の方言のあり方を反映させたものである一方、そこから逸脱した独自の特徴をもつことが明らかになった。今回は、用法についての分析ができなかったため、今後その点も含め総合的に考えていくことにしたい。また、ここでは実態の紹介のみにとどまっており、今回明らかになったような実際の「べー」

の形態・接続からの逸脱がどのような理由によるものか、そこには何か作者の文学的な意図があるのか、といったことも今後の課題である。

文 献

国立国語研究所（1989～2006）『方言文法全国地図』全6巻、財務省印刷局

玉懸元（1999）「仙台市方言の「べー」の用法」『東北大学言語学科論集』3、pp. 37-48

玉懸元（2010）「現代東日本方言の「べー」－その用法の全体像－」『中京国文学』29、pp. 61-77

東北大学方言研究センター（2019）『生活を伝える方言会話〔資料編〕－宮城県気仙沼市・名取市方言－』ひつじ書房

LINE スタンプにおける気仙沼市方言の使用

齋藤 すみれ

1 調査の目的

近年、方言の新たな活用方法が見られるようになったが、方言をモチーフにした LINE スタンプはその一例である。LINE スタンプはコミュニケーションアプリ LINE において使われるものであり、トーク画面上に実際のスタンプのように絵とメッセージが表示される。LINE スタンプはその地域の自治体やその他の企業が作成している場合もあるが、ほとんどは一般の人によって作成・販売されている。作成者はその方言の話者であるとは限らず、また購入・使用する人もその方言の話者であるとは限らない。そのため、方言のスタンプのメッセージは、現実の世界での方言のあり方をどれだけ反映したものであるのかという点が問題になる。方言がこのように活用される場合、作成者の意図である程度編集・誇張されている可能性が高い。現実では使われていないような古い方言をスタンプのメッセージに使用している可能性もあるということである。

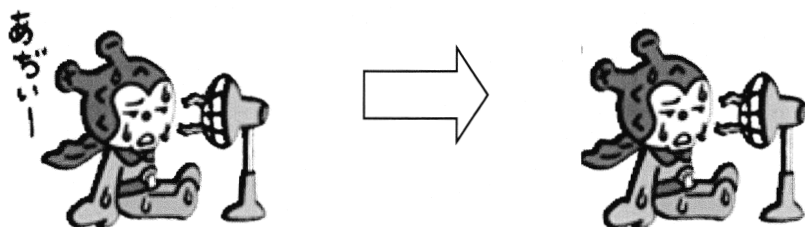
本調査では、方言の LINE スタンプの一例である気仙沼方言のスタンプを取り上げ、LINE スタンプにおける方言がどれほど現実の使用を反映しているのかを明らかにすることを目的とした。

2 調査の方法

今回は 3 名の話者を対象とし、面接調査を行った。3 名の話者は全員高年層（60～70 歳代）である。現在販売されている気仙沼方言の LINE スタンプである『方言ホヤぼーや』（気仙沼市）について、図 1 ようにメッセージ部分を隠してイラストのみ提示し、話者に普段の言い方として当てはまるメッセージを回答してもらった。何を伝えているのか分かりやすいイラストについては特に説明をしなかったが、分かりにくいイラストについては説明を付した。

また、他方言に特有なメッセージについて、気仙沼方言では表現可能なのかどうかという点についても質問を行った。他方言にはあって気仙沼方言には見当たらないスタンプのメッセージは、そもそも気仙沼方言で表現可能なのかということである。そこで、今回は大阪方言を比較対象とし、大阪方言の LINE スタンプを利用し、大阪弁に代表されるいくつかの表現についても質問をした。

図1 メッセージ部分を隠し、イラストに合うメッセージを回答してもらう



3 調査の結果と考察

結果を表1にまとめた。話者の回答とスタンプのメッセージが一致したものは「○」、一致したが他の回答も見られ、スタンプのメッセージの優先順位が低かった場合は「△」、一致しなかった場合やイラストが分かりにくく適切な回答を得られなかった場合は「×」で示してある。△や×でも、最後に隠していたメッセージを見せ、そのメッセージを使用するかどうか質問をし、使用するという回答を得た場合もある。それについては「(○)」や「(△)」と示した。なお、時間の関係等で回答が得られなかった場合は「—」で示した。「△※」は、そのスタンプのメッセージとは一致しなかったものの他のメッセージと一致した場合である。これはイラストがいくつかの意味に解釈できるためである。表1では○が多い順に上から並べた。「ばばば」については、『方言ホヤぼーや』(気仙沼市)には含まれていないが、シリーズである『海の子 ホヤぼーや』(気仙沼市)(メッセージが基本的に共通語だが、一部方言のもの)に含まれており、他の気仙沼方言のLINEスタンプにも高い割合で見られたため、特別に追加した。

3人の話者で全て○だったのは「おしょすい」、「おっかねー」、「こえー」、「しばれる」、「たんまげた」、であった。(図2)これらについては、話者が迷わずに即答する傾向が見られた。それだけ気仙沼方言において現在でも浸透しており特に使用されている表現と言える。「おしょすい」は「恥ずかしい」、「おっかねー」は「怖い」、「こえー」は「疲れた」、「たんまげた」は「驚いた」、「しばれる」は「冷える」の意であり、いずれも自分の感覚や感情に重きを置いた表現である。

図2 ○が3つのスタンプ





2人の話者で○であったのは「良かったね」、「おぼんです」、「ねぷてー」、「はまらいん」、「やんた」、「わがった!」、「わがんね」、であった(図3)。「わがった」は「分かった」、「了解」の意であり、LINE スタンプに特有のメッセージと言える。「おぼんです」は「こんばんは」であり、気仙沼方言のスタンプには挨拶のメッセージとしてはこの夜のものしか見られない。「ねぷてー」は「眠い」、「やんた」は「嫌だ」、「わがんね」は「分からない」の意であり、自分の感覚・感情に重きを置いた表現である。「良かったね」は「良かったね」、「はまらいん」は一緒に何かしようと誘う意がある。これらは、相手と一緒に気持ちや楽しみを共有しようとする部分で共通していると言える。

図3 ○が2つのスタンプ



1人の話者で○であったのは「おだつなよ」(ふざけるなよ)、「がんばらいん」(頑張って)、「ばばば」(驚いた時の声)、「まってっから」(待っているから)「めんこーい」(かわいい)、その他△がついたものは「あんべわりい…」(具合悪い)、「いずい」(目に何か入った場合等、気持ち悪いという意)「今なにしていっけ」(今何してるの)「なにすや」(何ですか)、「ほんでまず」(それではまた)、「んだがら」(「そうだよね」等、共感の意)、「んだ」(そうだ)、「んだっチャー」(そうだ)、であった。

表1

メッセージ(共通語訳)	話者①	話者②	話者③
おしよすい(恥ずかしい)	○	○	○
おっかねー(怖い)	○	○	○
こえー(疲れた)	○	○	○
しばれるー(冷える)	○	○	○
たんまげた!!(驚いた)	○	○	○
いがったね(良かったね)	×	○	○
おぼんです(こんばんは)	×	○	○
ねふてー(眠たい)	○	△	○
はまらいん!!(仲間に入りましょう)	○	×	○
やんた(嫌だ)	△	○	○
わがった!(分かった)	○	×	○
わがんね(分からない)	○	×	○
おだづなよ(ふざけるなよ)	×(○)	○	×(○)
がんばらいん(頑張ってる)	×	×	○
ばばば※(驚いている様子)	○	△※(○)	×
まってっから(待っているから)	—	×	○
めんこーい(かわいい)	○	—	—
あんべわりい…(具合悪い)	△	×(○)	×(○)
いずい(気持ち悪い)	△※(○)	△	×(○)
今なにしてっけ(今何してるの)	×	×	△
なにすや(なんだよ)	×	△	×
ほんでまず(それではまた)	△	△	△
んだがら!(そうだよ)	△	—	—
んだ(そうだ)	△(○)	×	—
んだっちゃー(そうだ)	△	△	×
あちいー(暑い)	×	×	×
あっぺとっぺだー(ちぐはぐだ)	×(○)	×(○)	×(○)
いがすいがす(結構結構)	×	×(○)	×
うっだづがら(今行くから)	×	×	×
しずんなー(からかうな)	×	×(○)	×
せずねー(やかましい)	×(○)	×(○)	×
ちょんてろ(黙っている)	×(○)	×(△)	×
ではってくる(出かけてくる)	×	×	×
なして?(どうして)	×	—	—
ねでおきろ(寝ろ)	×	×	×
ハカハカする(ドキドキする)	×(○)	×(○)	×(○)
はなしがたりすっぺし(お話ししよう)	×	×	×
むっけん(怒るな)	×	×	×
やばいん(一緒に行こう)	×(○)	×(△)	×
返事けらいん(返事下さい)	—	—	—
ほにほに(本当に)	—	—	—

一致:○ 一致だが優先順位は低め:△ 不一致:×

時間の関係上回答を得ていないもの:—

△※は、他のメッセージと一致、(○)や(△)はメッセージを隠さずに提示して使用の有無を聞いた結果

その他、×がついたものは「あぢいー」（暑い）、「あっぺとっぺだー」（ちぐはぐだ）、「いがすいがす」（結構結構）、「うっだづから」（今行くから）、「しずんなー」（からかうな）、「せずねー」（やかましい）、「ちょんてろ」（黙っている）、「ではってくる」（出かけてくる）、「なして?」（どうして）、「ねでおきろ」（寝ろ）、「ハカハカする」（ドキドキする）、「はなしがたりすっぺし」（お話しよう）、「むつけんな」（、「やばいん」であった。しかしこの中には「(○)」となっているものが多く存在し、それを考慮すれば全体として現実でも使われている表現の数がかなり多いと言える。図4にいくつかスタンプの例を示した。「ハカハカする」は運動等をして疲れ、動悸がする時に使うものであるが、図4のイラストは疲労というよりは緊張している様子に見え、「ハカハカ」よりも「ドキドキ」等の回答が多かった。「やばいん」のイラストはサメに乗って一緒に行こうと誘っている様子であるが、「後ろに乗って」という意味合いが強いイラストであるため、「後ろさ乗れ」等の回答が多く、「やばいん」という回答は出づらかったということが言える。よって、そのメッセージ自体は実際に使われているが、イラストが別の意味合いに解釈されてしまったということである。

なお、上で、3人の話者で○であったものには自分の感覚・感情に重きを置いた表現が多く、2人の話者で○であったものには相手と一緒に気持ちや楽しみを共有しようとする表現が目立つことを指摘したが、そういった表現は、3人の話者で×であったものの中にはやや少ないように思われる。また、図4に示したように、×となったスタンプはイラストが分かりにくい傾向があるようであり、感覚表現の「あっぺとっぺだー」「せずねー」「ハカハカする」や相手を誘う「やばいん」などはメッセージを提示すると話者の回答が「×」から「○」「△」に転じている。

図4



また、最後に大阪弁のスタンプのメッセージについても簡単な質問をした。図5は質問に用いた大阪弁のLINEスタンプである。まず、大阪弁の代表的な表現と言える「なんでやねん」等の突っ込む表現について、「気仙沼方言で突っ込む場合はどうなるか」という質問をしたところ、「そんなことを考えたことも無い、突っ込む機会が無い」、「突っ込みは関西のものである、ズーズー弁はゆっくり話すので突っ込みにはならない。仮にしたとしても突っ込んだ感じにはならない。どちらかというとボケの立場であることが多い」等の回答を得た。また、同じく大阪弁として有名であり最近では共通語でも若者言葉化しつつある「どや」という自慢の表現について、「気仙沼方言で自慢する時は何と言うか」という質問をしたところ、「スタンプのイラストのようにふんぞりかえることは無

い、気仙沼の人は『どうだ?』と自慢することがない、東北には謙遜の美がある」、「自慢はしない。自慢するようなことをしていない」という回答を得た。気仙沼方言には「なんでやねん」や「どや」に当たる表現が無いというよりは、突っ込むことや自慢すること自体珍しいということである。

齋藤（2019）では方言の LINE スタンプに見られる言語的特徴について調査がなされており、主に宮城と大阪の方言のスタンプ 50 セット（約 2000 語）について比較を行っている。それによると、宮城では不調を訴える表現等、自分の感情や感覚に重きを置いたメッセージや、相手と気持ちを共有するようなメッセージが多いという特徴が見られるのに対し、大阪のスタンプには突っ込みや自慢の表現のような相手と積極的にコミュニケーションをとろうとするメッセージが多いという特徴があるということが分かっている。今回の調査によって、LINE スタンプのメッセージは現実でも使用されているものが多く、逆に LINE スタンプに無いメッセージは現実ではそのような言語行動自体が行われていない可能性があるということが分かった。よって、LINE スタンプの調査を通して現実の言語行動について予測することはある程度可能であるということになる。今後はこうした見通しをもって、LINE スタンプの調査を行っていきたい。

図 5 大阪弁のスタンプ



文 献

齋藤すみれ（2019）「LINE スタンプの方言使用に見る地域性」『日本方言研究会第 109 回研究発表会 発表原稿集』（東北大学 2019 年 10 月 25 日）

田中ゆかり（2011）『「方言コスプレ」の時代—二七関西弁から龍馬語まで—』岩波書店

田中ゆかり（2016）『方言萌え！？—ヴァーチャル方言を読み解く』岩波ジュニア新書 845

参考 URL

「スタリコ」, <<http://www.line-tatsujin.com/>>

引用 LINE スタンプタイトル

「方言ホヤぼーや」気仙沼市

「大阪で生まれたパンダ」 Bloom

「しばさわ兄弟～大阪弁～」 つぶみかん

「大阪府民スタンプ①」 おふみ

依頼と受託の言語行動

小林 隆

1 調査の目的・内容

ここでは〈依頼 - 受託〉の言語行動について報告する。言語行動については、一昨年度・昨年度と「疑似会話型面接調査」の方法を試みた。この調査法は、会話の展開を想定し、その進行に沿って、各発話（ターン）をどう行うかを質問によって明らかにする方式である。1人のインフォーマントに、2人の話者を演じ分けてもらい、あたかも会話をしているかのように調査を進める。面接による質問式の調査でありながらも、場面設定会話を収録するような趣をもった調査方式とも言え、より自然な回答を引き出そうというねらいがあった。詳細は小林隆（2018）をご覧ください。

一昨年度はこの方式で7つの場面を設定し、パイロット的に2名の話者を対象に調査を行ったが、昨年度は〈依頼 - 受託〉の言語行動に焦点を絞り、「荷物運びを頼む」という場面について14名の話者を調査した。今年度は話者の数を増やすべく、同様の調査を17名の話者に対して行った。この17名の話者は、昨年度同様、全員高年層（60～80歳代）である。調査内容は、言語行動関係で構成した合同調査票1冊の中に組み込み、学生と筆者が調査を担当した。

ここでは、昨年度と今年度の話者を合わせ、延べ31名の結果について総合的に扱うことにする。ただし、結果の報告を優先させ、詳細な分析は後日を期したい。まず、調査文を次に掲げる。

- AさんとBさんは、近所の知り合い同士だとします。このAさんとBさんになったつもりで、会話をしてみてください。次のような場面ですく絵カード提示。

Aさんは、親戚からサンマをもらって帰ってきました。ところが、たくさんもらいすぎて重かったため、家までもう少しのところまで来て疲れてしまい休んでいました。ちょうどそこにBさんが通りかかったので、家まで一緒に運んでもらおうと思います。

- 1.1. このとき、あなたがAさんなら、Bさんにどんなふうに言いますか。（予想：依頼）
- 1.2. それでは、あなたがBさんなら、Aさんにそんなふうに言われたとして、どのように言葉を返しますか。（予想：承諾）
- 1.3. それでは、あなたがAさんなら、Bさんにそんなふうに言われたとして、何か言葉を返しますか。（予想：感謝）
- 1.4. それでは、あなたがBさんなら、Aさんにそんなふうに言われたとして、何か言葉を返しますか。（予想：配慮）

1.5. 【1.1で「恐縮表明」が現れなかった場合】前に戻りますが、1.1の場面では、「申し訳ないけど」とか「悪いけど」などといった言葉を添えたりしませんか。

ア. 添えない

イ. 添える →どう言いますか。

1.6. 【1.3で「感謝表明」が現れなかった場合】1.3の場面では、「ありがとう」とか「助かるよ」などといった言葉を添えたりしませんか。

ア. 添えない

イ. 添える →どう言いますか。

●次の会話をご覧ください<会話カード提示>。気仙沼市ご出身の方に、この場面の会話を実演してもらったものです。Aさんは女性、Bさんは男性です。※会話カードは、調査員が読み上げてみせる。

001A : Bさーん 私 これ サンマ もらって、いっぱい もらいすぎたやー。

002B : なーんと どっさりでー。

003A : んだからー。 あの 持ちきれねもんだから 持ってすけてもらって
いーべがねー。

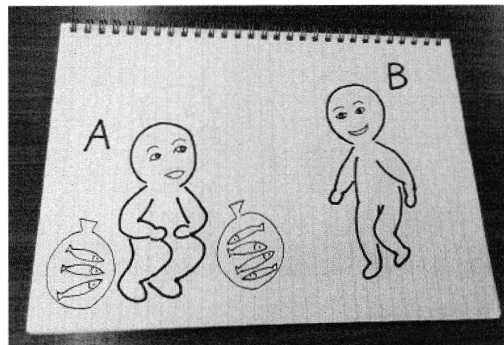
004B : あんたのこっだから 欲たけたんだべよ。

005A : んだからー。 なーに いっぱい 持ってけ持ってけって 言うからね
誰かさ あげてもいーかと 思って もらったのっさ。

006B : あーあー。 いーがすよ 持ってすけっから。

1.7. 004Bのところ、BさんはAさんを非難するようなことを言っています。このような言い方は、気仙沼の会話の仕方としては普通でしょうか。それとも、気仙沼らしくなく不自然な言い方でしょうか。もし気仙沼らしくないとすれば、なぜでしょうか。

上の質問の1.1～1.6で使用した「絵カード」とは、右の写真のようなものである。誰の発話であるかを明確にするために、B5判の用紙に描かれた人物AとBを、会話の進行に合わせて調査員が指さしながら調査を進めた。



2 調査の結果

ここでは、依頼と受託の会話をその進行に沿って質問した 1.1~1.4 の結果を示すことにする。昨年度と今年度の話者延べ 31 名の結果を次ページ以降の表に掲げた。表は左から通し番号、話者番号、話者生年、調査年、1.1、1.2、1.3、1.4 の回答の順に配置しており、見開きで 2 ページを横に通して一人の話者の回答が見られるようになっている。縦軸は、男性を先、女性を後とし、それぞれ生年の順に並べた。なお、「延べ 31 名」というのは、昨年度と今年度で同じ話者が 3 名いるからであり、それらについては、話者番号を「6a」「6b」のようにすることで 2 回の結果を分けて示した。同じ話者の 2 回の結果を対比してみるのも興味深いところである。

表中の回答は、一般的な表音式の片仮名で表示し、適当に分節した。調査票に記入された回答を手がかりに、筆者がすべての録音を聞き取り修正した結果を載せている。ただし、音声の聞き取りは不十分な点があり、話者が行った解説など記録できなかった部分を残していることを断っておく。

記号のうち、①②③…は発言の順番を示す。〈 〉は話者が行った説明、() は調査者ないし筆者が加えたコメントである。

3 簡単な考察

最初に述べたように、この結果の詳細な分析は後日を期すこととし、ここでは結果を簡単に概観することにしたい。

まず、一昨年度・昨年度の報告（小林隆 2017・2018）では、要求提示の発話が期待される 1.1 の質問「このとき、あなたが A さんなら、B さんにどんなふうに言いますか。」の結果を扱った。そこで抽出した気仙沼市方言の特徴は、次の 3 点にまとめられる。

- (1) 直接的なものの言い方
- (2) 配慮性の弱い会話
- (3) 自己に視点をおいた発話態度

ここでは、これらの点について 1.1~1.4 の会話の流れ全体を対象に見ていく。また、1.1 の分析のみでは十分見えてこなかった点として、「率直な話しぶり」と「感動表現による共感の形成」という 2 つの特徴を、「(4) その他」の中で取り上げる。

(1) 直接的なものの言い方

これは 1.1 で、主として依頼の要求提示に、「テツダッデケ」（男 6a）のような敬語要素を伴わない命令形式や、「モツテケロ」（男 4）のような受益動詞を補助動詞とした命令形式（「持ってくれ」相当）が目立つことを根拠にそう述べたものである。今年度の調査ではそうした形式の回答は多くなかったものの、次のように「～して助ける」に当たる命令形式（意味的には「～してくれ」にほぼ相当）が見られた。

男 13 ② 〈同格の人に対して〉 テツダッテスケロー。 ③ オデッテシテスケロー。 ④ ハコソデスケロー。

通し 番号	話者 番号	話者 生年	調査 年	1.1
1	男 1	昭 13	2018	オモデガラ モttesケロ。
2	男 2	昭 15	2019	①サンマ タクサン モラツタカラ スコシ ワケテヤツカラ テツダッテケンネカ。②カワリニ イクラカ ワケテヤツカラ。③<2つ下げてきたとすると>ヒツツ サゲテケンネカ。ウチサ イツタラ ワケテヤツカラ。
3	男 3	昭 16	2018	アンダ チョード イートコサ キタ。チョット モttesケネガヤ。
4	男 4	昭 17	2018	モttesケロ。
5	男 5	昭 17	2018	①オイ コイズ モttesケネガ。<親しい知り合いに対して> ②オイ コイズ モttesケロヤ。<親しい友達、同じくらいから目下に対して> ③モttesケネベカ。<目上に対して>
6	男 6a	昭 22	2018	①オーイ テツダッデケ。②オーイ テツダワネガ。③<この状況では逆にBの方から声をかける>オーイ ナーニ ヤツデル。<そうするとAは>サカナ イマ イツペ モラッテ ヤスンデヤドゴダ。テツダワネガ。④アー チョード キター。オイ タノムー。
7	男 6b	昭 22	2019	<運んでもらうだけというのではない><お礼はするとしてまず頼む時の言い方を>①アー イードゴサ キタナー。②ニモツ イツパイ モラッテ ヒシヤマスタ<手に負えない>。オモクテ イマ ヤスンデタコダ。イマ イツクシタヤー。<最後にヤーが付く> ③オラエマデスグ チカクダ。モttesケネガ。
8	男 7	昭 23	2019	①イツモ ドーモネ。ニモツ タノムカラ。<近い交流がある人> ②<近くないともっと丁寧になりますか。<そうですね。>その場合どうなりますか。>スイマセン、イツモ オセワサマデー。ニモツ イツパイデッサー チョット ハコビーズラインダケツド スコシ モttesケネスカ。
9	男 8	昭 24	2019	ヤーヤー B サン。サンマ ドツサリ モラツタモンダガラ オモダグテ ワガンネーヤ。アンダサモ ハンブン ヤツカラ ハコンデスケライン。<ワガンネーは大変だ、ひどい、どうしようもない、などの意味。スケルは助ける、ラインは依頼を表す。>
10	男 9a	昭 26	2018	イマ イツパイ サンマ モラツタタンダケツド オモクテ ワカンネーカラ タガエテケンネスカ。ハコンデケレレバ ナンボカ ヤツカラッサ。
11	男 9b	昭 26	2019	イツパイ サンマ モラッテキタンダケツトー オモデガラ チョット ウヂマデ ハコンデスケネスカ。ツイダラ スコシ ヤツガラ。
12	男 10	昭 26	2018	①<Bから先に声をかける。ナニシタノッサ。それに対してAが>ヤー コイズー イマ アンソコデ モラッテッサ イマ ココマデ モttesキ<言いよどみ>サンマ モラッテキタンダケツト イママデ ハコンデキタンダケツトモ オモタクナツテカラ イマ ココデ ヤスンデタノッサ。イツペ モラツタカラ アンタ スコシ タベネスカ。②B サン アンダエデモ タベラインヤ。スコシ ヤツカラ タベラインヤ。③<重すぎて一緒に運んでほしいときは?>B サン コイズッサー アンダ ミデノトリ コノグレ イツパイデ トテモ モttesイケネガラ モーシワケネドモ コイズ チョット ウヂマデ モttesケネスカ。④モttesケラインヤ。

1.2	1.3	1.4
①ドレ ドレ モッデスケツカラ。②ンデ モッデスケツカラ。	①ホンデ コノクレ モツテケロヤ。②ホンデア コノクレ モツテケロヤ。	ア ナンテ イッペ モラツタンダツチャ。
①ア イーヨ。スク° ソコダカラ テツダツテヤルヨ。②ダイショブダカラ テツダツテヤルヨ。③ヒツツ モツテヤツカラ。〈手伝ってやるというより、こちらの表現の方がよいかもしれない〉	ソレジャ タノムヨ。	①ウン。②〈もう少し念を入れれば〉ドレ ヨコシテ。
アー ソーガヤ。ンデ モツテスケツペ。	①アリガテーナー。②アー タスカルナー。ンデ タノムガラ。	〈サンマを持ってあげて〉①ズイブン マダ イッパイ モラツテキタナー。②モラツテキタナヤ。
ズイブン アルナ。モツテツテヤツカ。	アー イガツタ。	〈話をしながら行く。行動に移る。〉
ンデ モツテヤルカ。〈忙しなくなければ〉	ドーモ ドーモ。ホンデ タノムガラ。	〈特別何も言わないと思うが〉ドーセ ヒマダカラ イーヤ。
①ワガツタ。ドゴマデ モツテグ。アンタイサモツテクノカ。②ンー ワガツタ。テツダウカラ。ンデ モツデヤルガー。③モズカー。〈アリガトーは言わない。終わった後にドーモネは言うかもしれない。そのあとおすそ分けする。〉④(1.1の④)に続けて)オ ワカツタ。ナニヤ。ナニ コンナニ。	(1.2の④)に続けて)ア ××(聞き取れない) イッパイ モラツタヤ。タイヘンダー。モダネガ。	①(1.3の①)に続けて)ウン ワガツタ。②ウン ワガツタ。ドゴマデ モツテクノヤ。②ドコサ イクノヤ。
①イヤ ウン ワリドゴサ キタナー。ナンダショアネナ。ホンデ モツテスケツカ。	ホンデ タノムー。	〈もし返すとするなら〉(冗談めいた口調で)①ホントヌ タノムキガー。ケハグデ ユツタンダ。②ケーハグデ ユツタンダ。ホントヌ タノムノガー。③ケハグデ ユツタンダ。ショアネナ。
イーヨー。ウチマデスカ。	ウチマデ タノムガラ。	ハイ。イーヨー。
ナニスヤ。スバラグ サンマガ フリョーダドキーデダガラ コドスワ サンマ クワレネードオモツデダケンドモ モースワケネーネ。	ナーニ、ハズモノ クード サンネン ナガイキスルツツーガラ アンダモ クワイン。	ドーモ。モースワケネアーネ。ダンケヤ ワラスダノ マゴサモ クワセツペス。〈ダンケは旦那、ワラスは子ども。〉
タイヘンダベカラ イーッスヨ。	①スイマセン。〈今〉②ホンデ オネガイスツカラ。〈近い感じ〉	①イーッスヨ。②イガス イガス。〈昔の人〉③ヨガス。〈②と同じ意味〉③は60台後半より上の世代しか使わない。〉
アー イースヨー。	ア ドーモ アリカトー。	ア イーッス イーッス。
①エー イーノスカ。②エ イーノ。③オラエデモ サンマ イッペ モラツタシ サイキンズーット タベツツカラ オラエデ イーデバ。〈くれるというのを断り場合〉④(1.1の②)に続けて)エ モラツテイーノ。ア ホンデ ナンボカ モラウガラ。⑤(1.1の③④)に続けて)アー イーヨ イーヨ モツテスケツカラ。ドレドレヨコサイン ヨコサイン。	①ア ホンデ ナンボ ヤルツサ。②ア ホント タベル。ア ホンデ ヤツカラ。ナンボ イル。アー イガツター。ホンデ ウジサ モツテクノ ナンボカ カルクナルヤ。③(1.2の⑤)に続けて)アー ワルイ タノムー。タスカルー。モーシワケネーナー。コイズ ウチ ツイタラサー サンマ スコシ ヤツカラサ。	(1.3の③)に続けて)ナニー ツイデダカラ インダデバー。ソナ キニシナクテイーカラ。ドーセ オレ イマ チョードーナニモ ベツニ ヨージ アツタワケデナクテ タダ ブラブラシテタンダカラ ナニ ゼンセン イーガラ イーガラ ナンボデモ モツテスケツカラ ナーン ホンナン イーツチャ キニシナクテイーカラ。コーヤツテ モツテスケレバ アンタモ ラクダツチャ。〈それに対してAは、アー タスカルー。と返す。〉

13	男 11	昭 28	2019	アー イートコデ アツヤヤー トナリノカーチャン。イマナー ヤー サンマ イッペー モラ ッテシマッテ オモタクテ オモタクテ イエサ カエンノニ ホントニ タイヘンダドオモッテタ ノッサ。アンタイエサモ スコシ ワケテヤツカラ コイズ モttesケネスカ。〈オモタクテ ワ カンネカラ モttesケネスカというのは、助けてくださいの意。持ってもらえませんかでしょう か、の意。モtteケンネガというのはもっと近い人。家族とか近い人には、ホラ アンダモ モテヤ。これは命令口調。一方、モttesケネスカというのは、他人ていうか、目上の人と か他の人をお願いするときに使う。〉
14	男 12	昭 29	2019	〈同年代の人に対して〉①チョード イートコニ キタナー。②チョード ヨガツタヤー。③ アノ サンマ コレ コンナニ チョット モライスギター オモグテ チョット ウチマデ モッ テカエレネンダケドモー ウチマデ チョット キョーリヨクシテ モtteッテモラエネベカネ ー。〈目上の人に対して〉④サンマ チョット モライスギテ ウチマデ モtteイケナイン ダケドモ モシ ヨカツタラ イッシヨニ モtteッテモラエマセンカナー。
15	男 13	昭 32	2019	①〈目上の人に対して〉イマ サンマ モラッテキダガラ オーイガラ ツカレデ ヤスンデ ダ。〈ここまで共通〉オタクサモ スコス ヤルンダケッドモ スコシ テツダッテスケネスカ。 〈丁寧語を使う〉②〈同格の人に対して〉テツダッテスケロー。③オデッテシテスケロー。 ④ハコンデスケロー。⑤〈目下の人に対して〉ハコンデスケロヤ。⑥〈スケネスカが一番 丁寧かという確認に対して肯定したあとで〉テツダッテケンネスカ〈とか言う〉⑦〈目下の人 に対して〉コレ スコス マテ。コイズ オマエンツモ ヤルガラ スコシ ハコンデスケロ。 〈目上の人に対して自分から手伝ってほしいとは声をかけない。相手が目上の人の場合、 A「シバラクデス」B「シバラクダネ。ナニシタノ。」というやりとりが冒頭に入る。〉
16	女 1	昭 7	2019	イマ ソゴノ ケードデ イドコカラ サンマ モラッテキタケント ラーズモネー オモクテ コ ーワクテ コワクテ シシヤマシテタトコッサ。モttesケネスカ。〈ケイドは路地、イドコは親 せきというより親しい人、ラズモネはらちがない、とんでもない、コワクテは重くて、シシヤマ シテは持て余して、スケネスカは助けてくれませんかの意〉(この回答は、調査依頼書の 例をもとに予め準備してきたものらしい。自身の使う表現以外も含まれている可能性がある。)
17	女 2	昭 13	2019	①イマー サンマ モラッテキタンダケドモ サンマ ドー イラナイ。②サンマ イッパイ モラッテキタモンダカラ チョット テツダッテモラッテイーカナ。③〈こちらから頼む前に B さんが、ア オモソーダネ ワタシモ モtteアケルガラと言ってくれる。こちらからモtteケ サエンとはあまり言わない。〉
18	女 3	昭 14	2018	タクサン イタダイタノデ モtteイタダキタイトユーコトデ オネガイスルンデスケドモ ウチ ニ ツイタラ イクラカ アケルカラ オスソワケスルノデ イッシヨニ モtteイタダケマセン カ。
19	女 4	昭 15	2018	①サンマ ウチニ アリマスカ。〈おすそ分けしてやろうと思って〉②ヨージガ ナカツタラ ワタシノウチマデ ハコンデ クレナイ。
20	女 5	昭 16	2018	①アレー チョット アノー ニモツ オモイカラ モttesケネスカ。②モttesケライン。 ③モtteケンネスカ。
21	女 6	昭 16	2019	アー チョード イートコデアツダ。B サン ドゴサ イツテキタノ。

<p>バババ ナント イッペー サンマ モラッテキ タゴド。イガス イガスー。ドレ オレモ カエ ルトチューダガラ モッテスケッカラ。〈バババ はあらあらあらの意〉</p>	<p>①アレー アリガテーナー。② アレー アリガトーネー。③ア ー アリガトーネー。イガッタヤ ー タスカルヤー。スコシバリ ヨゲダナートオモッタケンドモ セツカク モッデイガインズガラ ワダスモ ヨクタカリダガラネー ホンデア ソーイッテ モラッテキ タンダケンドモ オモダクテ オ モダクテ。</p>	<p>ナーニ ワダスモ カエリミチダガラ チ ョード ヨガッタガス。</p>
<p>①ウチマデダッたら イーヨ イーヨ。②イー ガラ。モッテッテ スケッカラ。</p>	<p>イーノスカ。ワルイネー。ジャ オネカ^カイスツペカ。</p>	<p>①ズイブン モラツタネ。②ドツカラ モ ラツタノッサ。〈失礼に当たるからここま では言わないか〉③〈1.4の発言はしな いかも。持つ行動に移る。〉</p>
<p>①〈目下の人に対して〉スカタネーナ ハコン デスケッカ。②ワカッタ ワカッタ。③〈同級 生に対しても同様。〉</p>	<p>ンデ タノム。</p>	<p>ワカッタ。〈それくらいしか言わない。あ まり長い会話はない。阿吽の呼吸。〉</p>
<p>ナント バヤバヤ ヨクコグカラダ。コレデワ コク^ラマク^ラニ ナッテシマウデバ。ウザネ ダケント タンカ^クイデスケッカラ。〈バヤバヤ はまあまあ、コク^ラマク^ラは小暗くなってしま う、日が暮れる、ウザネダケントは大変だ けど、タンカ^クは持つの意〉</p>	<p>シヤマシテタトコダ。タスカリス ー。サンマ トベコダドモ ヤツカ ラ コンバンノ オ斯巴デニデモ シテケライン。ンデモ ハコマズ ラ ヤツペカ。〈シヤマシテタは 持て余していた、トベコは少しば かり、オ斯巴テは酒の肴、ハコ マズラは箱ごとの意〉</p>	<p>ホンデ ホマズ モラッテ コンヤワ ギ ユット モースクレ イタダクベカネ。〈ホ マズはお小遣いみたいなもの、不意に 入ってくるよいこと、ギユットモースクレ はお腹いっぱい意〉</p>
<p>①アラ ドーモ アリガトーネ。アラ ンジャ コンバン コノサンマデ ナニカ ツクローカ。 (1.1の①に対応) ②アー イガス イガス。 (1.1の③に出てきたモッテケサエンに対応)</p>	<p>(未調査)</p>	<p>コトシノサンマ ズイブン オーキーネ ー。ナント イキノイーコトネ。</p>
<p>ア イーデスヨー。</p>	<p>タスカルネー。</p>	<p>ソナナコト イツモノ アイダカ^ラジャナ イノ。エンリヨシナイデ。</p>
<p>①アー チョード ヨカッタ。ナカッタノ。②イー ヨ レーゾーコニ ハヤグ イレナイト ダメ ダガラ モッテ アゲルヨ。</p>	<p>①ジャー コレ スコシ オスソ ワケスルカラ モッテッテ。ハヤ ク レーゾーコニ イレテ。②ド ーモ。アンダイニ サカナ アル スカ。〈ないと言ったら〉ジャ ア ゲル。</p>	<p>イーノ イーノ。キー ツクワナクタッテ インダヨ。〈それに対して A は、アリガト ネー。と返す〉</p>
<p>①イーヨー。モッテヤツカラ。②テツダッテヤ ツカラ。③ヒトツ ヨゴサイン。</p>	<p>ンー タスカルー。</p>	<p>イーノ イーノ。</p>
<p>①イマ アノ ヨーシガ アッテ イエサ カエッ トコダヨ。②カエンノ。</p>	<p>アー ホンデ コノサンマ シン セキガラ イツパイ モライシギ テ チョード ツガレテ ヤスンデ タンダー。モッデスゲラエダイノ ー。</p>	<p>①アー イーヨイーヨ ダイジョーブ。モ ッデスケッカラ。②ハンブン モッデ スケッカラ。</p>

22	女 7	昭 19	2019	①アノサー サンマ メズラシードオモッテッサー ヨグコグシテ モラッテキタケントサー モー イエサ トツツカネツウチニ ヤスンデシタ。②<Bさんが来たから>ハー チョット ダレダレチャン チョード イートゴサ キタヨー。チョットー ワゲデケツカラ モッテッテケライン。③モッテイガイン。〈自分の家まで持って行かせるのは相手に面倒をかけるのでその場で分けてあげる。自分も楽になるので。運んでもらうという感覚はなかった。〉
23	女 8	昭 23	2019	①タクサン サンマ イタダイタノデ オスソワケ シタイトオモウノデ イカガデスカ。タベテクダサイ。②タクサン サンマ イタダイタノデ オスソワケ シタイトオモウノデ オモイカモシレナイケド モッテッテ タベテクダサイ。〈昔はサンマを買って食べるということがなかった。いっぱい水揚げされたのをバケツとかなんかにいただいた。〉
24	女 9	昭 24	2019	①ツカレタナー。②ツカレタンダケド テツダツテクレナイカナー。ハコンデモライタインダケド ドーダローネー。
25	女 10	昭 26	2019	①アラー チョード イートコロニ キタネー。②アラー チョード イートコロニ キタナー。イマサ シルイカラ サンマ イッパイ モラッテキテシマツタノ。ウチマデ モッテカエツペト オモッタンダケント オモダクテ イマ ココデ ヤスンデタコナノッサ。〈「モッテスゲテ」と言わなくても、Bさんなら「アラ ホンデ ワタシ モッテアゲルカラ」と言うのではないかと期待するので最後まで言わないかもしれない〉
26	女 11a	昭 27	2018	①コンニチワ Bサン サンマ モラッタンダケド イリマセンカ。〈自分の家に運んでほしいとは言いにくいので、Bさんにもらってほしいと言う〉②<もし頼みたいなら>モッテケンベカ。〈古、おばあさんたちが言う風〉③イッペー モラッタンデ オモクテ ワカンナイガラ モッテスケネベガ。〈古、おばあさんたちが言う風〉
27	女 11b	昭 27	2019	①Bサン サンマ モラッタンダケド チョット ハコンデクレナイベカ。②モッテクレナイベカ。③モッテスケライン。
28	女 12	昭 30	2019	イマ ソコデ サンマ モラッタンダケントモ チョット オモダクテ コマツテンノッサ。コレ スコシ ブジョホダケレドモ コレ アゲルガラ モッテスケナイ。〈濁点を使う。ダケントとか。〉
29	女 13	昭 30	2018	①ヤーヤ コレ Bサンヤ Bサンヤ コレ イッペー サンマ モラッテキタヤー。ココマデ キタツケ オモクテ ツカレテシマツタンダゲツトモ モッテスケネベガネー。②オモダクテ ツカレテシマツタヤー。モッテスケネベカネー。
30	女 14	昭 31	2018	アラ Bサン モーシワケネーケンド コノ ニモツ ハコンデスケネベガ。
31	女 15	昭 32	2018	チョット モラッタンダケド オモイカラ モッテスケテ。

<p>ヨグタゲット ソーナンダガスー。ドーレ モツテケッカラー。</p>	<p>①モツテケンナクテモ イガスー。ワケテモツテガイン。ケッカラー。②イガース イガスー。ハンブンズツニ スツトー オレ モツテカエンノイーガラー。ヨグデモツテカエレットオモツタモンダガラッサ。ダガラ イーガラ ケッカラー ハイ。ヨグコグスルモンデネーネー。〈ヨグデとは欲の意。私はしょっちゅう太根をもらったり、葱をもらったり、じゃが芋をもらったりしている。〉</p>	<p>(未調査)</p>
<p>ヨロコンデ イタダクワ。コンバンノオカズニモナルシ。</p>	<p>カルクナツテ ヨカッタワ。</p>	<p>〈共有して食べるような感じで〉ウチデモ タベルカラ オタクデモ ホント タベテネ。イタダクカラ アリガトネ。</p>
<p>①アー ツカレタノネー。ン ワカッタ ワカッタ。ンデ ハコンデイッテアゲルカラ テツダイマース。②テツダウカラ ワタシデ ヨケレバ。③ワタシデ インダツタラー。</p>	<p>エー イーノー。ワルイネー。デ タノムカナー。</p>	<p>ア イーンダツタラ。ン ジャ ハコンデアゲルカラ。</p>
<p>アラ ナント タイヘンナコト。ホンデ イーヨ。アタシモ モツテスケッカラーワ。</p>	<p>コンナニ イッパイッサ イラネットウツタンダケントネー イーカラモツテゲ モツテグツテ イワレデ モラツテキタノッサ。ンデモツサ ウジデ オトーサント ワタシドサ フタリキリダカラ〈Aさんが二人暮らしであることはBさんも既に分かっているので〉アンタ ヒトツ モツテツテ ヒトフグロモツテツテネ カエリニネ。</p>	<p>アラー キョ サンマ アカ[°]ツタンダイカネー イチバサネー。ン チョード ヨガッタ。バンゴハンノ タシニ フンジャモラツテイク[°]カラ ワタシモ。</p>
<p>①アー アリガトー。モラツテモ イーノカナ。②イーヨ イーヨ モツテスケッカラー。〈古、おばあさんたちが言う風〉</p>	<p>①イッパイ モラツチャツタンデヨケレバ モラツテクダサイ。②ホンデ タノムガラ。〈古、おばあさんたちが言う風〉</p>	<p>①アリガトー ンジャ モラウネ。ジャイキマシヨ。②ホンデ イグベシ。〈古、おばあさんたちが言う風〉</p>
<p>アララ イッパイダネ。ンデ モツテスケッカラー。</p>	<p>ホンデ タノムネー。</p>	<p>〈行動に移す〉</p>
<p>①ア タイヘンダネ。デモ ズイブン イギイーゴドー。メズラシーネー。イーヨ モツテスケルガラ。②ワルイネ。イーノ。</p>	<p>①ドーモネー。ワルイネー。タスカッタ。②〈あげる予定のものを売り込む〉スコ[°]グ イギイーガラッサー。タノムー。〈震災以降こういうやりとりは少なくなつた〉</p>	<p>イーヨイーヨ。カエツテ ドーモ。</p>
<p>アラー ナーントナント ホントダ。イッペ モラツテキタゴトネー。ドレドレ イーヨー モツテスケッカラー。</p>	<p>アー ホントニー ドーモネー。タースカルヤー。</p>	<p>①〈もつ行動に移る〉②ドッジ モズベネー。③ドイズ モズベネー。</p>
<p>ズイブン オモソーダネー。イーヨ。</p>	<p>モーシワケネエネ。</p>	<p>ナニ トナリダモノ。</p>
<p>ンー ベツニ ヨージガ ナイカラ モツテイツ アゲマス。</p>	<p>ジャー オネガイシマス。</p>	<p>①ジャ イコーダイカ。②ジャ イツシヨニ モツテイコーカ。③ジャ イツシヨニモツテ スケル。</p>

また、1.1 では、相手にサンマを分けてやるといった趣旨の回答も多く得られたが、それらの中には、文字通り「分けてやる」や「やる」に該当する次のような与益表現が観察される。

男 2 ①サンマ タクサン モラッタカラ スコシ ワケテヤッカラ テツダッテケンネカ。

②カワリニ イクラカ ワケテヤッカラ。 ③〈2 つ下げてきたとすると〉ヒトツ サゲテケンネカ。ウチサ イッタラ ワケテヤッカラ。

男 9a イマ イッパイ サンマ モラッチタンダケッド オモクテ ワカンネーカラ タガエテケンネスカ。ハコンデケレレバ ナンボカ ヤッカラッサ。

こうした直接的な与益表現の使用は、1.2 の受託の発話においても認められる。

男 5 ンデ モッテヤルカ。〈忙しくなければ〉

女 5 ①イーヨー。モッテヤッカラ。 ②テツダッテヤッカラ。

さらに、1.3 では、相手が手伝いを受託したのを受けて、さらに依頼の要求提示が行われることがあるが、そこにも「持ってくれ」に当たる命令形式が現れる。

男 1 ①ホンデ コノクレ モッテケロヤ。 ②ホンデア コノクレ モッテケロヤ。

また、1.3 には念押し的な言い方も見られるが、そこに「それでは頼む」に当たる簡略な表現が用いられることがある。

男 13 ンデ タノム。

女 11b ホンデ タノムネー。

以上のように、気仙沼市では、「～しろ」「～してくれ」と依頼し、「～してやる」と受託するパターンが存在し、念押しは「頼む」一語で済まされる場合がある。ものの言い方が直接的であるという印象は、ひとつにはこのようなところからきている。

(2) 配慮性の弱い会話

これは、1.1 の発話に恐縮表明の要素がほとんど見当たらなかったことからそのように判断したものである。今年度の調査でも、1.1 の発話には「申し訳ない」「すまない」「悪い」などの形式はほとんど回答されなかった。

一方、相手が荷物を持つことを受託したことに対する1.3の発話では、12名の回答に次のような恐縮表明（感謝もここに含む）が観察された。

男 5 ドーモ ドーモ。ホンデ タノムガラ。

男 12 イーノスカ。ワルイネー。ジャ オネカ° イスッペカ。

女 14 モーシワケネエネ。

このことは、依頼する際には恐縮表明を行わないが、受託に対する返答ではそれを行う人がいることを意味する。ただし、31名のうち12名という数値はどう考えたらよいだろうか。筆者の共通語感覚からすれば、決して多くない割合のように思われる。

(3) 自己に視点を置いた発話態度

これは、1.1 の回答で依頼の理由を説明する際に、自分にとって現状がどうなのかといった述べ方をしている話者が一定数いたことに注目したものである。すなわち、依頼の理由として、「荷物が重い」という内容は、当然のことながら多くの発話に現れている。ただし、詳細に観察すると、荷物が重いから自分はどうかという一歩踏み込んだ言い方をしている場合が見られた。「オモクテ ワカンナイガラ」(女 11b)、「オモダクテ ツカレテシマッタヤー」(女 13)、「トテモ モッテイケ° ネガラ」(男 10) などがそうである(ワカンナイは「だめだ」の意)。これらは、そのことから(この場合には荷物が重いという事態)が自分にとってどうであるかを表明するものであり、自分の立場からことがらを評価して述べる発話態度と言える。

こうした回答は、今年度の話者からも例えば次のように聞くことができた。

男 8 サンマ ドッサリ モラッタモンダガラ オモダクテ ワガンネーヤ。

男 11 イマネー ヤー サンマ イッペー モラッテシマッテ オモタクテ オモタクテ
イエサ カエンノニ ホントニ タイヘンダドオモッテタノッサ。

女 1 イマ ソゴノ ケードデ イドコカラ サンマ モラッテキタケント ラーズモネー
オモクテ コーワクテ コワクテ シシヤマシテタトコッサ。(シシヤマシテは持て余しての意)

女 9 ①ツカレタナー。 ②ツカレタンドケド テツダッテクレナイカー。

また、そこでの事態が自分にとって都合である場合、それを「よい」という表現で口にする傾向も見られる。まず、1.1 の発話では、相手がちょうど都合のよいところに来たと述べる回答が次のように現れている。

男 3 アンダ チョード イートコサ キタ。チョット モッテスケネガヤ。

男 11 アー イートコデ アッタヤー トナリノカーチャン。

女 10 ①アラー チョード イートコロニ キタナー。 ②アラー チョード イートコロニ
キタナー。

困っているところへ手伝ってくれそうな人がやってきたことを、自分にとって「よい」と表明しているのである。

この「よい」という表現は、1.3 の回答、すなわち相手の受託への返答としても現れている。例えば、次のような回答である。

男 4 アー イガッタ。

男 10 ②ア ホント タベル。ア ホンデ ヤッカラ。ナンボ イル。アー イガッター。ホンデ ウジサ モッテク° ノ ナンボカ カルクナルヤ。

これを感謝表明の一種とみなすこともできるが、その場合でも、「ありがとう」のような相手への感謝を明示的に示す表現ではなく、あくまでも、自分が窮地から脱することを喜ぶ表現となっている点は注目される。これと類似の機能を持つ表現として、「助かる」という言い方も見られる。

男 3 ②アー タスカルナー。ンデ タノムガラ。

女1 シシャマシテタトコダ。タスカリスー。

女5 ンー タスカルー。

これも、相手に向けた表現というよりも、自分がどうなのかを示す表現と言えるであろう。こうした自己に視点を置いて述べる発話態度は、小林隆・澤村美幸（2014）で提示した「自己と話し手の分化」の問題とも関わり、東北地方に特徴的なものである可能性が考えられる。

(4) その他（率直な話しぶり、感動表現による共感の形成）

まず、「率直な話しぶり」という点について見ると、今年度調査した1.2の回答には、次のような相手を非難するような回答が確認される。

女1 ナーント バヤバヤ ヨクコグカラダ。コレデワ コク° ラマク° ラニ ナッテシマウデバ。ウザネダケント タンカ° イデスケッカラ。〈バヤバヤはまあまあ、コク° ラマク° ラは小暗くなってしまう、日が暮れる、ウザネダケントは大変だけど、タンカ° クは持つの意〉

女7 ヨグタゲット ソーナダガスー。ドーレ モッテケッカラー。

これは、気仙沼市で収録した同じ場面の実際の会話にも次のように登場している。

004B : アンダノゴッダカラ ヨグタゲダダベヨ。

あなたのことだから 欲張ったんだろうよ。

（東北大学方言研究センター2019：59「荷物運びを頼む」①受け入れる）

これらの場合、非難といってもからかい半分の非難であると思われるが、それにしても近所の知り合いにここまで踏み込んだ発言ができるのは、気仙沼市が率直な話しぶりを許容する地域であるからであろう。この女1の発話には、波線を引いた「ウザネダケント」という表現が見られるが、これも歯に衣を着せぬ言い方である。似たような表現は次の回答にも現れている。

男6b ①イヤ ウン ワリドゴサ キタナー。ナンダ ショアネナ。ホンデ モッテスケッカ。

次に、「感動表現による共感の形成」という点にも触れておきたい。これは、会話の冒頭、依頼する側が自分の置かれている困難な状況を感動的に相手に訴えかけ、受託する側もそれに感動的に応じるようなやりとりのことを指す。気仙沼市で収録した同場面の会話の出だしは次のようになっている。

001A : Bサーン アダシ コレ サンマ モラッテ、イッパイ モライスギダヤー。

Bさん 私 これ さんま もらって、いっぱい もらいすぎたよ。

002B : ナーント ドッサリデー。

なんと どっさりで。

（東北大学方言研究センター2019：59「荷物運びを頼む」①受け入れる）

聞き手の心情に迫るような発話を交わし合い、共感の形成を図ろうとする姿勢が読み取れる。こうした臨場感ある会話は、疑似会話型面接調査では把握しにくいと思われたが、次の2つのやりとりは、上の実際の会話に近い様子がとらえられている。

男11 1.1 アー イートコデ アッターヤー トナリノカーチャン。イマネー ヤー サンマ

イッペー モラッテシマッテ オモタクテ オモタクテ イエサ カエンノニ ホントニ タイヘンダドオモッテタノッサ。アンタイエサモ スコシ ワケテヤッカラ コイズ モッテスケネスカ。

1.2 バババ ナント イッペー サンマ モラッテキタゴド。イガス イガスー。ドレ オレモ カエルトチューダガラ モッテスケッカラ。(バババはあらあらあらの意)

女 13 1.1 ①ヤーヤ コレ Bサンヤ Bサンヤ コレ イッペー サンマ モラッテキタヤー。ココマデ キタツケ オモクテ ツカレテシマッタダゲットモ モッテスケネベガネー。 ②オモダクテ ツカレテシマッタヤー。モッテスケネベカネー。

1.2 アラー ナーントナント ホントダ。イッペー モラッテキタゴトネー。ドレドレイーヨー モッテスケッカラー。

このように、依頼側と受託側が相互に感動表現を交わし合うことで共感を形成し、心情的なレベルで合意を図ろうという展開は、気仙沼市方言のひとつの特徴と言えるかもしれない。

4 おわりに

ここでは、気仙沼市方言の〈依頼 - 受託〉の言語行動を明らかにするために、「荷物運びを頼む」という場面を設定して行った疑似会話型面接調査の結果を報告した。詳細な分析はあらためて行う必要があるが、その際には、小林隆 (2019) で取り上げた実際の会話との比較や、小林隆 (2014) で扱ったような全国分布調査の結果との対照なども視野に入れていきたい。他の方法、他の地域との対比によって、気仙沼市方言の特徴はより明確にとらえられるはずである。

文 献

- 小林 隆 (2014) 「配慮表現の地理的・社会的変異」野田尚史・高山善行・小林隆編『日本語の配慮表現の多様性』くろしお出版
- 小林 隆 (2018) 「「疑似会話型面接調査」の試み」東北大学方言研究センター『被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開』東北大学大学院文学研究科国語学研究室
- 小林 隆 (2019) 「依頼の言語行動」東北大学方言研究センター『被災地方言の保存・継承のための方言の記録と公開 2』東北大学大学院文学研究科国語学研究室
- 小林 隆 (2019) 「依頼会話に見られる特徴」東北大学方言研究センター『生活を伝える方言会話 [分析編] 一宮城県気仙沼市・名取市方言一』ひつじ書房
- 小林隆・澤村美幸 (2014) 『ものの言いかた西東』岩波書店
- 東北大学方言研究センター (2019) 『生活を伝える方言会話 [資料編] 一宮城県気仙沼市・名取市方言一』ひつじ書房

語りのデータから見た気仙沼方言

甲田 直美

1 調査の目的

本調査では、文字のない絵物語を用いた口頭の語り（ナラティブ）における連結表現の使用を調査する。

物語において、話者は個々の事柄をどのように結びつけ、話をどのように組み立てているであろうか。物語全体がどのように首尾一貫性と結束性を保ち、物語談話を構成していくかを連結表現の使用の観点から探る。

本調査者は、談話においてどのような接続表現が用いられているか、接続表現のバリエーションの研究を行っている(甲田 2018)。また語りの研究として甲田(2015)のように、語りの中で用いられる表現の特徴を考察している。本調査は、それらの一環として、気仙沼方言における語りにおいて、談話標識、接続詞、接続助詞を始めとする談話の連結に関する言語表現を収集する。

2 調査方法

気仙沼市在住の高年層（60～70 歳代）の話者 2 名（男性 1 名、女性 1 名）にご協力いただき、以下のように、談話を録音し文字転記する。

1 「鮭女房」の絵を見てお話を語ってもらう。「鮭女房」は、似た話として「魚女房」があり、各地に伝えられる昔話の一つである。ある男が魚を助け、その後、魚が若い女性となって男のもとを訪れ、女房として暮らす。ある日、不審に思った男が夜に女の様子を覗いてみると、実は女は魚だった。自分の正体を知られてしまい、魚は姿をくらましてしまった、というあらすじである。まず絵を見て構成を考えてもらう（説明や思考のことば）。そして子供への読み聞かせを作って語ってもらった。

2 他の文字のない絵本 *Frog, Where are you?* (Mayer, 1969) を見て、お話を語ってもらう。*Frog, Where are you?* は、文字がなく、絵だけで構成された物語である。ある少年が飼っていたカエルが家から逃げ出してしまい、少年はそのカエルを探し回る。危険な目に合いながら、カエルを見つけたとき、カエルには家族が出来ていたという話である。この絵本は、Berman and Slobin (1994) の大規模な多言語を対象とした研究により使用されている。まず話者に絵を見て構成を考えしてもらい、そして子供への読み聞かせを作り、語ってもらった。話者が考える際の説明や思考のことば、そして創作した物語のことばを録音した。

3 絵を用いた言語研究

Frog Story (*Frog, Where are you?*; Mayer, 1969)を利用して、語りを解析し、文の連結の仕方を調査した研究がある。Berman and Slobin (1994) の大規模な交差言語的研究の手法を参考に発達研究が行われている。

日本でも多くの研究の中で、単語のない絵本 *Frog, Where Are You?* に基づく研究が行われている。宮田 Susanne・稲葉みどり(2014)では、この絵本を口頭で語る際に、発達過程においてどのような連結表現が出現するかを調査している。彼女らは、各発達段階の児童が、どのように物語全体のテーマに沿って首尾一貫性と結束性を保ち、物語談話を構成していくかを連結表現の使用の観点から探っている。その具体的指標として、使用される連結表現の言語形式(接続詞・接続助詞・活用語尾・形式名詞・その他)、連結表現の意味(時間・因果・逆接)による分類等を行っている。

本調査では、文字のない絵物語(「鮭女房」と *Frog, Where are you?*)を用いて、気仙沼方言における口頭の語りを調査した。第4節と第5節に女性話者による語りを示す。

分析の観点としては、1 どのように物語が組み立てられているか、物語の全体像について、2 特定の言語表現としては、接続詞、接続助詞をはじめとする連結の表現として、どのような連結表現が用いられているかという問題、3 テンス・アスペクトなど談話の結束性に関わる問題などが考えられるが、本調査報告では、話者が語った物語を提示するにとどめ、具体的な分析は改めて別稿を用意する。

4 鮭女房

4.1 物語制作中の発話

以下の(1)~(3)は、絵を見て物語を考えている談話である。話者は、共通語と気仙沼方言を交えながら会話していたが、物語の中での登場人物の発話は方言を用いて生き生きとした台詞を与えていた。台詞を引用している部分は補文標識の「ッテ」で示されている。

- (1) セッカグダカラ フンデ タベッカナ ッテ ニッテ ワラッタダネ ンデ ホカホカッテ コー ナンカ アノ ホットナ カンジナノネ ハー ソーユーコトネ ンダケッドナ ドレヤ トカッテッテ カンガエテル カンガエテンノ モシカシテ ココワ オガシーナ オラエノ ミウチニ オンナノヒト イネノニナッテ カンガエテッカモ シレナイシネ フシギダナ ツツ カンジダネ アレ ナンダカ オガシネナ オガシーナ アレナンデナ ッテ タブン ココ カンガエテンジャナイ?

(1)の部分では、①から⑤のように、登場人物である男の台詞を生き生きと創作している。

- ①「せっかぐだから ふんで 食べっかな」って にって 笑ったんだね
②「んだけっどな どれや」とかってって 考えてる
③「おがしいな おらえの 身内に 女の人 いねのにな」って 考えてっかもしれないしね
④「不思議だな」っつ 感じだね

⑤「あれ何だか おがしねな おがしーな あれ なんぞな」って 多分ここ考えてんじゃない？

(2)も同様に、登場人物である男の台詞を生き生きと創作している。

(2) コレ ウロコ ミタイジャナイ？ コレ オラエニ オンナノヒト イネノニ オンナノヒト イタヤッテ タマゲタンダネ コレネ

⑥「おらえに 女の人 いねのに 女の人 いたや」って、たまげてたんだね これね

(3)も同様に、男の会話の引用とみられるが、補文標識はない。しかし、いったん台詞を提示してから、話者が理解した様子を示している。

(3) フシギダナー ウレシーケッドモ ナンダガ オガシー ア ソーユーコトネ ソッドカグレデ ノゾイテ ミデンノネ ミデダツケ ア ナルホド ミズアビシテ サカナ アコレ サケダネ シソンハンエーニ ハゲンデル

⑦ 「不思議だなー 嬉しいけども 何だか おがしい」 あ そういうことね そっど 隠れで覗いて

話者は、絵を見てどのような物語かを考え、物語を制作していくが、その過程で台詞によって登場人物の気持ちを描写している。⑤「あれ何だか おがしねな おがしいな あれ なんぞな」にみられるように、「おかしいな」ではなく「おがしねな」のような方言における思考の言葉を採用することができる。

4.2 語られた「鮭女房」

(4)は、前節のような創作過程を経て語られた「鮭女房」の物語である。接続詞、接続助詞、述語用言に付いて句や節となるものに下線を付す。

(4) 鮭女房

ムカシ イズノゴロダカ ワカンネケッドモ ヒトリモノノ イー オトコワラシガ イタトツサ

キダテノイー ワカモノダツテ カワノソバ アルイタツケ オッキナ サガナ ンドコ イジメタリ ツツイタリシテ ワラシドモ イタ タスケテ ニガシタンダカモ シンナイネ

ミンナ イギテル モンダ カワイソダト オモツテ ハナシデ ヤツテ ワラシサモ オシエダガ オシエネカ ワガンナイ ケドモ オッポ ヒルガエシテ アリガト ミタイナ カワサミオ カグシタ

ア ジブンデワ イーゴト シダナ オヨイデ カエツタカ ッテ オモツダカモネ
 ヤレヤレ キョー イーゴト シダナ ト オモツテ イエサ カエツタレバ ミタコトナイ
 メンコイ ムスメッコ イタドッサ
 アレ オレエデ ダレモ クル オンナノヒト イネノニ ブツダマゲダナ
 アリヤ ッテ ソレ タマゲルモンネ アリヤ ナンド シダ コツダベ ゴハンモ ツクツテ
 ケテ カラニ アンチャン ウレシクテ カラニ タベタネ ニコニコツテ クツテヤ
 ア イガッタ イガッタ ト オモツダ
 ウメゴト ウメゴト ッテ ウレシクテ シアワセオ カンジタデ ネベカネ
 ワカイ ムスメッコ クルナンテ オカスイナ コノ ワキヤ アンツァン カンガエデッドコ
 カンガエテルヨネ
 アレ オガシーナ ッテ チョッコラ ノゾイデ ノゾイテ ミツペカ
 ドコカラ ノゾクベナ テンジョーウラ イーガモ シレネナ
 ココナラ キツカレネベ ト オモツテ ヤネウラカラ ノゾイテ アナガラ フシアナ カラ
 ノゾイタツケ アリヤ サガナ ダヤ
 イキノビタ ヨーナ カオシテ ウレシソーニ シテ ミズアビシテ シカモ ナベンナカ ダ
 ヨ
 ハラッコモ カカエテカラニ ハ ナント ニラレッカストー
 ムスコ タマゲテ シマッタ ヨダネ
 ンダケッド サカナ ニラレタノニ オツユニシテ ダサレタツタンダケッド クズ ナンダベ
 カ
 ンデ クツテ ミツペカ ウメゴト ウメゴト ッテ タベダンダケッドモ ムスメッコモ ソ
 ゴニイルシ ナンデナンダカ
 オラ ワガンネヤ ンデモ オツユモ ウメソダカラ ゴツツォニ ナツペ
 ア コイツァ サガナ ミガワリカ ト オモツタ タマゲタツケ
 ワカラレテ シマツテ ムスメッコ サガナニ カエツテ シマツタンダベカネ
 サカナガ オンガエシニ キダンダヤ ッテ コノ ワカイモノ ワガツタカモ シレンネ
 オンガエシ シテ カエツテ イッタヤ
 イツコ マンマ

(5) (4)の漢字仮名交じり表記

昔 いづの頃だか わかんねけども 独り者の いい 男わらしが いたとっさ
 気立てのいい 若者だって 川のそば 歩いたっけ おっきな 魚んどこ いじめたり 突いた
 りして わらしども いた 助けて 逃がしたんだかも しんないね
 みんな 生きてる もんだ かわいそだと 思って 放して やって わらしさも 教えだが
 教えねか 分がらない けども 尾っぽ ひるがえして ありがと みたいな 川さ 身を 隠し

た

あ 自分では いいごと しだな 泳いで 帰ったか って 思っただかもね
やれやれ 今日 いいごと しだな と 思って 家さ 帰ったれば 見たことない めんこい
娘っこ 居たどっさ

あれ おれえで 誰も 来る 女の人 いねのに ぶっだまげだな
ありゃ って それ たまげるもんね ありゃ なんと しだ こっだべ ご飯も 作って け
て からに あんちゃん 嬉しくて からに 食べたね にこにこって 食ってたや

あ いがった いがった と 思っだ
うめごと うめごと って 嬉しくて 幸せを 感じたで ねべかね
若い 娘っ子 来るなんて おかすいな この わきゃ あんつあん 考えでっどこ 考えてる
よね

あれ おがしいな って ちょっくら 覗いで 覗いて みっぺか
どこから 覗くべな 天井裏 いいがも しれねな
ここなら 気づかれねべ と 思って 屋根裏から 覗いて 穴がら 節穴 から 覗いたっけ
ありゃ 魚 だや

生き延びた ような 顔して 嬉しそうに して 水浴びして しかも 鍋ん中 だよ
はらっこも かかえてからに は なんと 煮られっかすと一
息子 たまげて しまった よだね
んだけっど 魚 煮られたのに おつゆにして 出されたったんだけっど くず なんだべか
んで 食って みっぺか うめごと うめごと って 食べたんだけっども 娘っこも そごに
いるし 何でなんだか

おら 分がねや んでも おつゆも うめそだから ごつつおに なっぺ
あ こいつあ 魚 身代わりか と 思った たまげたっけ
分かられて しまって 娘っこ 魚に 返って しまったんだべかね
魚が 恩返しに 来だんだや って この 若い者 分がったかも しれんね
恩返し して 帰って いったや
いつこ まんま

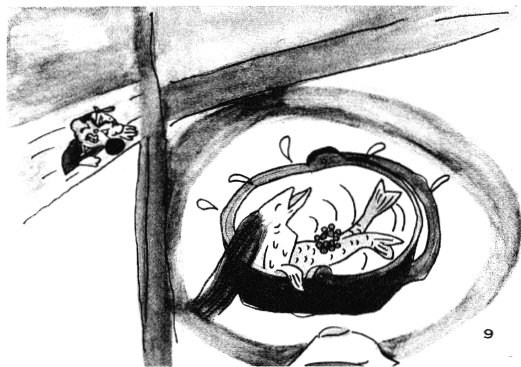


図1 「鮭女房」の紙芝居から（若い男が不審に思って女の様子を覗くと、魚が水浴びをしていた場面）

5 カエルさんどこへ？

5.1 物語制作中の発話

以下の(6)と(7)は物語制作中の発話である。

(6) コレワ アンシン シテイル トコネ ドレ ドッコイショ ドレ ヨノナカ ケンプツ
ニデモ デカケテ ミッカナ ヨノナカ ケンプツニ ドレ デカケテ クッカナ ッテ カ
イヌシガ デカケテル アイダニ トビダシチャタンダネ

この物語では、登場人物は少年とカエルと犬、その他の虫や動物である。(6)の発話は、カエルが飼い主の少年が寝てる間に瓶から抜け出して出て行ってしまう場面である。カエルの心内発話が補文標識「ッテ」によって引用されている。

⑧ 「どれ どっこいしょ どれ 世の中 見物にでも 出かけて みっかな 世の中 見物に
どれ 出かけて くっかな」ッテ 飼い主が 出かけてる 間に 飛び出しちゃったんだね

次の(7)では「はてはて なぞした こっだべ」の部分に補文標識はないが、この前の部分に、「あれって感じかな」と状況を類推する部分があり、「あれって感じ」の疑問の部分に「はてはて なぞした こっだべ」で表されている。この部分は、いかにも考えている様子「さてさて どうしたことだろう」が表されている。

(7) コレ ウチニ ハイッタノ カシラ アレット カンジ カシラネ ナンカ アレット
カンジカナ ハテハテ ナゾシタ コッダベ

⑨ なんか あれって感じかな「はてはて なぞした こっだべ」

話者は、物語の制作や調査者との会話を完全に方言形で行うのではなく、共通語と入り混じりながら話していた。しかし、登場人物の気持ちを引用する場合には方言形が用いられていた。

5.2 語られた「カエルさん どこへ？」

次は、語られた「カエルさん どこへ？」である。「鮭女房」に比べて登場人物が人間ではないため、会話の引用が少ないが、心内発話がところどころ見られる。読みやすくするため、(9)に漢字仮名交じり表記を付す。接続表現に下線を付す。

(8) 「カエルさん どこへ？」

アレ ドコサガシテモ イナイ アレ ドコサ イッタベ アレ イナイイナイ ココニモ イ
ナイ ソコニモ イナイ ハ?テ ドコサ イッタベ
ワンコモ イッショーケンメー サガシテンダケッド イレモノノ ナカニ カオ ツッコンデ
マデ サガシテンダケド イナカッターネー

ア コワレタンダ ビンガネ ケガシタカト オモッタラ ワンコモ ケガシテナクッテ ボク
ワ ウレシーヤラ オコルヤラノ カオシテ オーイ カエルサン ドコニ イッタノ サガシニ
デカケテタネー

デモ カエルッテ オソラニ イナイシネ サカンデモ ミミ キコエテンカナー カエルッテ
ミミ キコエテンノカナ タブン シンドーダト オモウネ カエルワネ キコエテレバ イーケ
ドネ イッショーケンメー カエルサンオ サガシテ アナ アルカラ ココニ イタカナー カ
エルサーンッテ サケンダラ アレ ドコサ イッタンダバー

モグラ キミオ サガシテタンデ ナイヨ

ビックリシテ コドモガ コシ ヌカサンバカリノ カオシテ ワンコガ キニ ブラサガッテ
ル マルイモノ ナンドカ ワカンナイデ イッショーケンメー ユスッタラ ソコニ イルトオ
モッテ ユスッタラ ハチノス ダッタノネ モグラサンガ アブナイ アブナイッテ アナカラ
ノゾイテルシ キニ ノボッテ アナノナカ ノゾイテッケッド カエルサン イタカナ ッテ
サガシテマシタ

ワンコワ ハチニ オッカケラレテルシ オニーチャンワ キカラ タタキオリタ

ミミズクガ ビックリシテ コラ！ッテ ミミズクガ コラ オレノスオ アラスナッテ オイ
カケテキタノデ ドコカニ カクレットコ サガシタンダケッド ア ココノ カゲサ デモ ミ
オ カクスカ ア ミミズクモ カエッチャッタカラ オーイ カエルサン ッテ イシノ ウエ
カラ イッショーケンメー サカンデマス

ナンカ イー キノエダガ アルカラ コレニ タツガッテ デモ コノ コレ キ ジャナク
テ ナンカ フシギナンダケッド チョード ニギリ アンバイ イートコサ アンチャンガ ツ
カマッテマシタ

ナンテユーコト デショウ シカサンノ ツノ デシタ

シカサンノ ツノトモ シラナイデ ツカマッテテ シカサンガ ウゴキダシテ ノッカタママ
シカサンガ ハシリダシマシタ

オーイ ナントカ シテケレ シカサンワ バック シナイノカシラ マエサ ハシル ダケナ
ノカシラネ シカサンノ アタマニ ノッカタマンマ カエルサガシニ デカケタ

ガケデ シカサンガ タチドマリマシタ ソノヒョーシニ フリオトサレテシマッテ ガケカラ
オチマシタ

アブナイ サイワイニモ カワニ オッコチタ シカサンガ シンパイソーニ ナガメテル ア
ナントカ タスカッタナ ワンコ コッチノ キシニ アガルカ？ ワンコ ボクワ ノリタクナ
イカラ アタマノウエニ ノッカッテ リクニ アガリマシタ ワンコニ シズカニシロ

シーッテ サカンニ アピールシテマスネ ミミオ スマシテ キキオボエノアル コエオ キ
イタノカモ シレマセン ア コッチダ コッチダ

イッピキダッタ カエルガ ニヒキニ ナッテル ナンカ ウレシーヤラ ゲンキデ ヨカッタ
ナ ナントナク ホットシタヨーナ フンイキガ ツタワッテキマシタ コンナニ イタ？ カゾ

クガ フェテル ワンコガ ナントナク ホットシタヨーナ フンイキガ ツタワッテキマシタ

(9) (8)の漢字仮名交じり表記

あれ どこ探しても いない あれ どこさ いったべ あれ いないいない ここにもいない
そこにもいない はっ?て どこさ 行ったべ

わんこも 一生懸命 探してんだけっど 入れ物の 中に 顔 突っ込んでまで 探してんだけ
ど いなかったねー

あ 壊れたんだ 瓶がね 怪我したかと 思ったら わんこも 怪我してなくて ぼくは 嬉
しいやら 怒るやらの 顔して おーい カエルさん どこに 行ったの 探しに出かけてたねー

でもカエルって お空に いないしね さかんでも 耳聞こえてんかなー カエルって 耳 聞
こえてんのかな たぶん 振動だと思うね カエルはね 聞こえてれば いいけどね 一生懸命
カエルさんを 探して 穴 あるから ここに いたかなー カエルさーんって 叫んだら あれ
どこさ 行ったんだべー

モグラ 君を 探してたんで ないよ

びっくりして 子供が 腰 ぬかさんばかりの 顔して わんこが 木に ぶらさがってる 丸
いもの なんだか 分かんないで 一生懸命 揺すったら そこに いると思って 揺すったら
蜂の巣 だったのね モグラさんが あぶない あぶないって 穴から 覗いてるし 木に 登っ
て 穴の中 覗いてっけっど カエルさん いたかな って 探してました

わんこは 蜂に 追っかけられてるし おにいちゃんは 木から たたきおりた

みみずくが びっくりして こら!って みみずくが こら おれの巣を 荒らすなって 追
かけてきたので どこかに かくれっどこ 探したんだけっど あ ここの 陰さでも 身を 隠
すか あ ミミズクも 帰っちゃったから おーい カエルさん って 石の 上から 一生懸命
さかんでます

なんか いい 木の枝が あるから これに たつがって でも この これ 木じゃなくて
なんか 不思議なんだけっど ちょうど にぎり あんばい いいとこさ あんちゃんが つかま
ってました

なんていうことでしょう シカさんの角でした

シカさんの 角とも 知らないで つかまってて シカさんが 動き出して 乗っかたまま シ
カさんが 走り出しました

おーい なんとか してけれ シカさんは バック しないのかしら 前さ 走るだけなのかし
らね シカさんの 頭に 乗っかたまんま カエル探しに出かけた

崖で シカさんが 立ち止まりました その拍子に 振り落とされてしまって 崖から 落ちま
した

危ない 幸いにも 川に 落っこちた シカさんが 心配そうに 眺めてる あ なんとか 助
かったな わんこ こっちの 岸に 上がるか? わんこ ぼくは 乗りたくないから 頭の上に
乗っかって 陸に 上がりました わんこに 静かにしろ

しーって さかんに アピールしてますね 耳を すまして 聞き覚えのある 声を 聞いたの
かもしれません あ こっちだ こっちだ

一匹だった カエルが 二匹に なってる なんか うれしいやら 元気で よかったな なん
となく ほっとしたような 雰囲気が 伝わってきました こんなに いた？ 家族が 増えてる
わんこが なんとなく ほっとしたような 雰囲気が 伝わってきました

5. 3 いくつかの観点

5. 3. 1 方言形と共通語の量

(8)において、話者は「鮭女房」の語りよりも共通語形を多く用いている。接続表現をみると、次のように「不思議なんだけど」や、「探してんだけど」など語形にバリエーションが見られる。(10)は「だけど」と促音が挿入された形になっている。

- (10) ナンカ イー キノエダガ アルカラ コレニ タツガッテ デモ コノ コレ キ ジャナクテ ナンカ
フシギナンダケッド チョード ニギリ アンバイ イートコサ アンチャンガ ツカマッテマシタ
(11) イレモノノ ナカニ カオ ツッコンデマデ サガシテンダケド イナカッタネー

これに対して、(12)「から」、(13)「たら」、(14)「ので」では共通語と同じ語形の接続助詞が用いられている。甲田(2018)で示したように、接続表現の意味関係により、方言形の形態のバリエーションは異なる。

- (12) 一生懸命 カエルさんを探して 穴あるから ここに いたかなー
(13) 一生懸命揺すったら そこにいると思って 揺すたら 蜂の巣だったのね
(14) みみずくが こら おれの巣を 荒らすなって 追いかけてきたので どこかに かくれ
っとこ 探したん だけど あ この 陰さでも 身を 隠すか

「だけど」は前件と後件が逆接の関係を表しているが、強調されているためか、共通語と異なる形態となっている。同じ一つの談話内で、どのような表現に共通語が使われ、どのような表現に方言語形が使われているかも観点となる。「鮭女房」の語りでは「カラニ」が用いられているが、これも共通語とは異なり、表す意味関係を精査する必要がある。

- (15) アリャ ナンド シダ コッダペ ゴハンモ ツクッテ ケテカラニ アンチャン ウレ
シクテ カラニ タベタネ

また、第4節で示したように、話者は登場人物の台詞や心内発話には方言形を用いており、物語の中でも口頭表現など登場人物の属性と関係する表現には方言形が用いられている。

5. 3. 2 物語の技法

繰り返しをどの部分に用いるか

物語の冒頭部では、

(16) あれどこ探してもいない あれ どこさ いったべ あれいないいない ここにもいな
い そこにもいない

と、カエルがいなくなった様子が「いない」を繰り返すことで示され、状況設定が行われている。

終了部をみると、

(17) なんとなく ほっとしたような雰囲気が伝わってきました こんなに いた？ 家族が
増えてる わんこが なんとなく ほっとしたような雰囲気が伝わってきました

が2度繰り返されており、物語が進展しないことを示すことにより終結が示されている。物語のなかで、同等の表現が繰り返されている箇所は、話の展開上、何らかの位置を占めると考えられる。

この他に繰り返されている箇所としては、

(18) みみずくが びっくりして こら！って みみずくが こら おれの巣を 荒らすなって
追いかけてきたので

と危険な場面でも用いられている。物語の設定、終結部、何らかの転機で繰り返しが物語の技法として用いられている。

述語テンスによる事態の描き分け

物語中で用いられた述語のテンスをみると、過去形と非過去形が入り混じっており、物語の結束性と場面展開の関係を考えさせる。どのような事態が過去形で、どのような事態が現在形などの非過去形で表されているか、これらの物語作成の技法としてはさらなる考察を必要とする。

話者による注釈の挿入

物語の途中で話者（語り手）による注釈が挿入されている場面がある。

(19) でもカエルって お空にいないしね さかんでも 耳聞こえてんかなー カエルって 耳
聞こえてんのかな たぶん 振動だと思うね カエルはね 聞こえてればいいけどね

(20) おーい なんとかしてけれ シカさんは バックしないのかしら 前さ 走るだけなのか
しらね

物語のあらすじとは直接関係ないものの、脱線することによって物語にユーモアを与えている。

6 おわりに

本報告では、気仙沼の方言話者による物語の語りを提示した。方言談話がどのように語られ、物語中の

それぞれの事柄がどのように連結されるか、そして、個々の言語表現についていえば、接続表現として話者はどのような形態を用いているかを考察する第一歩であった。具体的な分析については別稿に記したい。

題 材

「蛙女房」の紙芝居

Mercer Mayer (1969) *Frog, where are you?* New York: Dial Books for Young Readers.

参考文献

甲田直美(2015)「語りの達成における思考・発話の提示」『社会言語科学』17-2、pp. 24-39.

甲田直美(2018)「接続詞の語形変化と音変化ー方言談話資料からみた接続詞のバリエーションー」

小林隆編『コミュニケーションの方言学』ひつじ書房 pp.271-291.

宮田 Susanne・稲葉みどり (2014)「子どものナラティブにおける連結表現の特徴ー日本語を母語とする3歳児と4歳児の比較を通してー」『健康医療科学研究』4、pp. 25 -40.

Berman R. & Slobin, D. I. (1994) *Relating Events in Narrative: A Crosslinguistic Developmental Study*. Hillsdale, NJ: LEA Publishers.

第2部

世界に発信！ 方言クッキング
～宮城県名取市の郷土料理～

1. はじめに

宮城県名取市は、東日本大震災の被災地の一つです。2011年3月11日、名取市は大津波に襲われました。

宮城県名取市は、東北地方最大の都市である仙台市に隣接しているため、地域の言葉である方言は仙台の言葉と似ています。けれども、すべて同じではありません。

同じことが、名取の人々に愛されてきた郷土料理にも言えます。名取の郷土料理も東北地方の他の地域で継承されてきた郷土料理と似ていますが少し違います。

今、名取市には地元の方言を次世代に継承するための活動をしている市民団体があります。「方言を語り残そう会」というユニークな名前の団体です。メンバーは11名で、平均年齢は77歳です。2009年から地域に伝わる民話を方言で語る活動を開始しました。けれども、2011年の東日本大震災を境に方言で被災者を励ます活動にも取り組みました。

世界に発信！ 方言クッキング

～宮城県名取市の郷土料理～

Local cuisine of Natori City, Miyagi Prefecture
introduced in the local dialect

▶ おくずかけ Okuzukake

Soy sauce flavored vegetable soup, thickened with starch powder.

▶ 茄子のずんだあえ Nasu-no-zunda-ae

Steamed eggplant with seasoned edamame paste.

▶ きしやずいり Kishazu-iri

Chopped vegetables, minced meat and okara (soy pulp) stir-fry.

名取市の「方言を語り残そう会」と郷土料理を継承する活動をしている3名が協力して、方言で郷土料理を紹介する試みに挑戦しました。

紹介する郷土料理は【おくずかけ】【茄子のずんだあえ】【きしゃいり】の3品です。名取で育った人なら、誰もが一度は食べたことのある料理です。被災地の文化である方言と郷土料理を通して、ぜひ被災地で生まれた生活の一端を知ってください。

櫛引祐希子

具体的には次のような活動をしました。

- (1)仮設住宅で方言を用いた慰問活動
- (2)東日本大震災の経験を方言で詠んだ句集『負けねっちゃ』の作成 (2011年)
- (3)東日本大震災の経験を方言で綴った詩集『生ざるっちゃ』の作成 (2013年)
- (4)東日本大震災の経験を方言で綴った文集『忘ねっちゃ』の作成 (2018年)

(2)(3)(4)のタイトルで使われた「ちゃ」は、宮城県で使われる方言の終助詞です。この終助詞には複数の意味がありますが、(2)(3)(4)のタイトルでは強い意志を表しています。

Introduction

Natori city in Miyagi Pref. is one of the areas most affected by the Great East Japan Earthquake. On March 11, 2011, Natori was hit by a Tsunami.

Natori is located next to Sendai city, which is the largest city in the Tohoku district. Therefore, their

また、名取市には郷土料理を継承する活動をしている3名の女性がいます。平均年齢は83歳です。その中のお一人が「方言を語り残そう会」の男性メンバーと夫婦です。このご縁がきっかけで、今回、

‘magine-ccha’(It means We won’t give up in the Tohoku dialect.).

(3) in 2013 they made a collection of poems about the experiences in the earthquake. It was named ‘igiru-ccha’(It means We shall live in the Tohoku dialect.).

(4) in 2017 they made a collection of compositions about the experiences from the earthquake. It was named ‘washene-ccha’(It means We won’t forget in the Tohoku dialect.).

All of these projects were composed in the local dialect of Tohoku. ‘-Ccha’, the phrase in each title, is a sentence final particle used in Miyagi. Though this particle has several meanings, it means strong will in these titles.

Besides them, there’s a trio of women passing on their local cuisine. Their average age is 80 and one of them is a wife of the member from ‘Hougen-wo

dialects are quite similar to one another, and the same goes for their local cuisine. The local cuisine of Natori and of the other parts of the Tohoku district also have common ground, but there’s also a clear difference between them.

In Natori, People formed a citizen’s group called ‘Hougen-wo katarinokosou-kai’ passing on their local dialect to the younger generation. This group consists of 11 members and their average age is 77. Since 2009, they have kept doing folk-story telling activities in their dialect but after the Great East Japan Earthquake, they also started activities to encourage and comfort the victims. For instance, they,

(1) visited a temporary housing to console the people and communicate with them in their dialect.

(2) in 2011 they made an anthology of haiku about the experiences in the earthquake. It was named

は小麦粉のグルテンを加工した食品で、形状によって呼称が変わることがあります。調理方法も焼いたり、煮たり、【おくずかけ】のように汁に入れたり様々です。

緑色が鮮やかな【茄子のずんだあえ】は、来客をもてなすためのご馳走です。

栄養豊富な【きしやずいり】は、家庭料理の定番です。

なお、映像では、この三品の他に栗の入った赤飯と「ずんだ」を使っただんごが紹介されています。

People in Miyagi eat those three dishes for different purposes and occasions.

Okuzukake is a local dish from the southern part of Miyagi Pref. They make it during Ohigan and Obon(the period when the spirits of ancestors come back). They put vegetables, tofu, fu and U-men(noodle) into Okuzukake. 'Fu' is a processed food made from gluten and the name of 'fu' differs

katarinokosou-kai'. Because of this connection, these two groups came together and decided to make a video to introduce the local cuisine in their dialect.

In the video, they will make three local dishes that people raised in the community should have eaten before.

Please learn a part of the lives, cultures and cuisine of the people in Natori, through their local dialect.

2. DVDで紹介した三品について

今回紹介した三品は、それぞれ食する目的が違います。

宮城県南部の郷土料理である【おくずかけ】は、お彼岸やお盆に食べる習慣があります。【おくずかけ】には野菜や豆腐の他に麩と温麺が入ります。麩

3. 方言クッキングの企画について

方言は地域が育んできた文化の一つです。けれども今、方言は継承されないうちに消えつつあります。郷土料理も方言と同じ地域の文化の一つです。そして郷土料理も食生活の変化に伴い、その継承が困難な状況にあります。

方言と郷土料理という地域に根差した二つの文化を共に映像で記録し公開することで、東日本大震災の被災地が育んできた文化を活性化させるお手伝いをしたいと考えたのが、今回の方言クッキングの目的です。

東北には料理で頻繁に使う語彙や日常的に方言の名称で呼ばれる食材が豊富にあります。たとえば、今回の映像でも【おくずかけ】では「うるかす（水に浸して柔らかくする）」、【きしやずいり】では「かまんかす（かきまぜる）」が使われている様子が映し出されています。また、【おくずかけ】で彩りを添える食材として紹介される「ささぎ」はインゲン豆のことです。同じく【おくずかけ】で使われる里

depending on the shape. There are many ways to cook it. It can be fried, stewed, put in soup, etc.

Brilliant green Nasu-no-zunda-ae is a side dish for guests.

Nutritious Kishazu-iri is a typical home cooked dish in Tohoku.

In the video, we introduced two more dishes, Sekihan (festive red rice) with chestnuts and zunda dumpling.



From the upper left, zunda dumpling, Kishazu-iri and Nasu-no-zunda-ae. Bottom left is Sekihan (festive red rice). Bottom right is Okuzukake.

いがけない壁にぶつかりました。

4. 意外な展開となった方言クッキングの撮影

2019年11月に方言クッキングの撮影がおこなわれしました。場所は名取市の集会場の大きな台所で、す。天気に恵まれ、自然光で十分きれいな映像が撮影できると私も含め全員が意気込んでいました。

しかし、いざ撮影を始めると、空気は一変しました。方言が思うように出てこないのです。

企画時点では、「方言を語り残そう会」のメンバーが中心となり、食材や調理について方言で説明することになっていました。企画者であり撮影者である私も「方言を語り残そう会」のメンバーも、この点については心配していませんでした。

というのも、「方言を語り残そう会」の活動を私が撮影して映像作品に仕上げるということを2014年からしてきたからです。今まで3本の映像作品(以下の①②③)を「せんだいメディアアーク」の「3がつ11にちをわすれなれないためにセンター」の

芋は「いもっこ」「いものこ」と呼ばれています。

このように様々な東北方言の語彙が生活を営む上で欠かせない料理という場面で登場するに違いない……そう考えて、宮城県名取市の「方言を語り残そう会」と、そのメンバーの奥様がご友人お二人とおこなっている郷土料理愛好会に、名取の郷土料理を名取の方言で紹介する映像作品と一緒に制作してみないかと提案しました。

即答で同意を得て、調理する郷土料理は【おくずかけ】【茄子のずんだあえ】【きしやずいり】の三品に決まりました。その理由は7ページで述べたように、それぞれ食す目的が異なる郷土料理だからです。また、「おくずかけ」は煮る、【茄子のずんだあえ】は和える、【きしやずいり】は炒めるというように、それぞれが違う調理方法で作られるという点も、この三品を選んだ理由です。

撮影日も決まり、みんなで和気藹々と方言で話しながら料理することができだるろうと誰もが思っていました。けれども、実際に撮影を始めると、思

市の郷土料理～』を制作しました。編集のために映像を見直した結果、この映像には“名取の方言の今”が映し出されていると思ったからです。

5. 「方言クッキング」が映し出したもの

“名取の方言の今”について説明する前に、【おくずかけ】【茄子のずんだあえ】【きしゃざいり】の食材を紹介するそれぞれの場面で聞こえてきたアクセントについて解説します。

次のページで色分けされた3つの図は、【おくずかけ】【茄子のずんだあえ】【きしゃざいり】で使われる食材の中から特徴的なアクセントで紹介された食材を抜き出してまとめたものです。

図の中の●はアクセントが高め、○は低めであることを表しています。また、同じ人物が同一の食材を場面によって異なるアクセントで紹介した場合は、その場面の時間を示しました。

協力のもと、HP (<http://recorder311.smt.jp/movie/>)で公開したり、DVDで視聴できるようにしたりしてきました。

- ①「方言でやっぺ！名取閑上版桃太郎」（2014）
- ②「みんなで作っぺ！ 仮設で「たこ焼きパーティー」」（2015）
- ③「仮設で仮装カラオケ大会「みんなで歌うっぺ！」」（2016）※DVDのみ

これらの映像には「方言を語り残そう会」のメンバーによる滑らかな方言が記録されています。今回の方言クッキングでも、それを期待したのですが、「方言を語り残そう会」のメンバーの口から出てくるのは共通語の語彙や言い回しばかりでした。そのため何度も撮り直しとなりました。撮影終了後、一部のメンバーから映像の出来を危惧する声もありました。けれども結果的には、この時に撮影した映像で『世界に発信！方言クッキング～宮城県名取

それに対し、AさんとCさんの「いとこん」は方言的なアクセントと言えます。ここで言う方言的なアクセントとは、共通語のように言葉に応じて固定されているのではなく、同一の個人の中でも揺れがあるアクセントを言います。【茄子のずんだあえ】でも同じ現象が観察されます。「なすのずんだあえ」の「なす」と食材の「なす」ではBさんのアクセントが違います。試しに共通語で発音して見れば、両方とも「●○」となることに気づくはずです。【きしやずいり】でも特徴的なアクセントが聞こえてきますが、特に興味深いのは「ゴンボ」です。「ごぼう」を東北では「ゴンボ」と言いますが、そのアクセントと「ごぼう」のアクセントが違います。

このように方言クッキングの食材紹介で聞こえてくるアクセントは実に特徴的です。とはいえ、上で説明したような内容(名取のある宮城県南部では言葉に応じて固定化されたアクセントを使わないということ)は既に知られているので、方言クッキングでこのことを取り立てて論じてもあまり意味

おくずかけ	Aさん	Bさん	Cさん
まめふ	0:26...●●●○ 2:14...○●●●		
とうふ	●○○	○●●	
だいこん	●○○○	○●●● (デエコン)	
にんじん	●●○○	○●●●	
いとこん	●○○○	○●●●	●○○○

茄子のずんだあえ	Bさん
なす	○● ※●○○のずんだあえ

きしやずいり	Dさん
ねぎ	○●
ごぼう	0:37...○●○○ 1:02...○○●● (ゴンボ)
ひきにく	○●○○
にんじん	●●○○
しいたけ	○●●●

【おくずかけ】では、Aさんの「まめふ」のアクセントが一定ではありません。また「とうふ」「だいこん」「にんじん」についてAさんとBさんのアクセントが異なります。Bさんは「だいこん」ではなく「デエコン」と発音していますが、次の「いとこん」も含めすべて共通語と同じアクセントです。

【きしやずいり】では二人がそれぞれ食材（しいたけ、ねぎ、白菜）を切る場面で「ぼつぼつ」という同じオノマトペを使います。



たとえば、上に示したねぎを切る場面では「こまく（細く）切んねえで、ぼつぼつと切った方が味があっておいしいので、こんなふうに切ってます」と言っています。

次のページに示した白菜を切る場面でも「適当な大きさに切ります。ぼつぼつ、ぼつぼつと切ります」と言っています。

はないでしょう。

ただし、外的な要因（たとえば屋外の騒音やビデオの手振れなど）以外の理由で食材の紹介シーンを撮り直すことはなかったと言えば、事情は変わりません。なぜなら、前述したように方言クッキングの撮影では全体的に方言が出てきにくかったからです。そういう意味では食材の紹介シーンの方言のアクセントの出現率はかなり高いと言えます。くわえて、このシーンも他と同様、文末に丁寧語の「です・ます」が用いられています。つまり、出演者らは意識的に丁寧な言葉遣いを心がけていたと考えられますが、そういう意識があったにせよ、食材の紹介で方言のアクセントが現れるのは、それだけ地元のアクセントが名取の暮らしに根付いている証拠です。

もう一つ、今の名取の方言のありようを知るうえで重要な鍵を握るのがオノマトペです。【きしやずいり】で出演者二名が方言であると意識しないのでオノマトペの「ぼつぼつ」を使用しています。語形は共通語にもありますが、用法が異なります。

クセントのように意識されにくかったりという理由で衰退を免れている方言があるということを示すアルに映し出していると言えるでしょう。

そして、【おくずかけ】【茄子のずんだあえ】【きしゃざいり】という順で映像を見てみると、方言クッキングが、アクセントや語彙などの具体的な方言だけでなく、名取における発話スタイルの移り変わりも映し出していることに気づきます。【茄子のずんだあえ】と【きしゃざいり】は、発話の一部に方言的な特徴が確認できますが、発話される文そのものは共通語とそう大きな違いはありません。対して、【おくずかけ】は先の二つに比べれば、たとえば豆麩の使い方について説明するシーンで「これ、乾燥した豆麩なのっしや。これ使うとき、水にうるがすといいつ」というように方言的な特徴を有する複数の文法表現・語彙が合わさった発話が多数用いられているため、方言色豊かな映像に仕上がっています。しかし一方で、共通語が用いられた発話も多く、方言スタイルと共通語スタイルの発話のギャップが



映像を見る限り「ぼつぼつ」というオノマトペは、一定の大きさの塊に切っていくことを表すようで、「ぶつ切り」に近い表現だと言えそうです。

このように、方言であると意識されないものとしては、他にも【おくずかけ】の「ささぎ」があります。「方言を語り残そう会」のメンバーは今回の撮影で初めて方言であると知ったそうです。

方言クッキングは全編を通して方言が湧き水のように溢れ出ているわけではありませんが、共通語が浸透している現在においても、オノマトペや「ささぎ」のように方言と意識されていなかったり、ア

災者の慰問をおこなっていましたが、その主な場所は美田園第一仮設住宅の集会場でした。そこには名取で暮らす同世代の住民がいました。

その活動の様子を①②③の映像におさめたわけですが、今回の方言クッキングの撮影を通して「方言を語り残そう会」が慰問で使っていた方言は、自発的な側面だけでなく誘発的な側面がかなり大きかったということに気づきました。つまり、仮設住宅の住民の存在が、「方言を語り残そう会」から方言の発話を引き出していたということとです。方言クッキングでは基本的にレンズに向かって話をする体裁ですが、名取で暮らす同世代の顔見知りや相手であればもっと方言が使いやすいかたははずです。

【きしゃざいり】の最後に方言クッキングの開始直前の様子を撮った映像を入れました。ほんの数秒の映像ですが、食材を取り分けながら方言スタイルの発話が活発に飛び交っています。ビデオのカメラを意識することなくリラックスした雰囲気で作業ができたからでしょう。

印象的な映像でもありません。

おそらく、かつての名取では【おくずかけ】に映し出された方言スタイルの発話が主流であったのでしょうが、共通語化が進行した結果、現在では【茄子のずんだあえ】や【きしゃざいり】の映像に映し出されたようなトーンの方言の使用が常態化していると考えられます。

6. 「方言クッキング」が映し出せなかったもの

しかし、方言クッキングが映し出せなかったものがあることも確かです。それが、ここまで保留にしてきた問題――なぜ方言クッキングの撮影では、今までの撮影とは違って方言が発話されにくかったのか――の答えです。今回の撮影は、4節で紹介した①②③の撮影時と状況が大きく異なります。今回は公民館に併設された集会場で撮影しましたが、①②③の撮影は名取市内にあった美田園第一仮設住宅の集会場でおこないました。1節で紹介したように東日本大震災以降、「方言を語り残そう会」は被

願いする場合には最低限の対応とも考えられます。

7. 世界に発信するために—英語訳への挑戦—

ここまでは方言クッキングの方言に焦点を当ててきましたが、ここからは「世界に発信！」について説明します。英語のみで世界中のコミュニケーションが成立しているわけではありませんが、英語を紹介すると、今までにない繋がりが生まれる可能性が高まります。被災地の方言と郷土料理を日本だけでなく世界の人々に紹介したい、そして被災地が育んできた地域の文化に関心を持ってもらいたいとの考えで、今回の方言クッキングに英語の字幕を付すことにしました。英語訳については、大阪教育大学教育協働学科グローバル教育講座多文化リテラシーコースに在籍する西澤実里さんから多大なサポートを得ました。また、英語字幕については同僚の Jason Ginsburg 准教授からの確かなコメントやアイデアをいただきました。方言クッキングの英語に問題があるとするれば、すべては最終的な決断をした

とはいえ、仮設住宅での慰問を映した①②③の映像を見ると、高齢者の方言の使用にはリラックスした雰囲気という条件以外にも必要な条件があると、繕われない自然な方言も聞こえてきますが、一方で演出によって意図的に使用された方言も随所で聞かれます。5 節の最後で述べたように、方言スタイルの発話が失われつつある現在では、高年齢にとっても日常から切り離された特別な場面を設定した方が、方言を意識的に使えるのかもしれない。

このように考えれば、方言クッキングの撮影で言がなかなか出なかったというのも納得できます。もしかしたら、方言クッキングの撮影前に撮影の条件や方法について十分に注意を払い、「方言を語り残そう会」と方言クッキングのためのシナリオを作成しておけば良かったのかもしれない。それはそれで意図的に用意された方言の使用という問題が新たに浮上りますが、もはや方言だけでなく共通語の発話もある程度可能な高齢者に方言の使用をお

はいえ、Zunda か zunda か、冠詞は必要か不要かなど判断に迷いました。今回は文頭でない限り、冠詞なしの zunda としました。

▶食材の訳

一番悩ましかったのが、これです。たとえば「こんにゃく」の英語名は *devil's tongue* ですが、その *noodle* が「いとこん」であると説明しても意味が成立しないので、「こんにゃく」は *konjak* としました。中でも一番苦労したのが「おから」です。豆腐を作る時に出る搾りかす、という意味にあたる英単語はありません。巷には様々な訳語が溢れていますが、結果的に今回は *soy pulp* にしました。

▶字幕の訳

4節で紹介した①②③の映像では「方言を語り残そう会」のメンバーが使う方言を文字に書き起こした字幕を映像に付しましたが、今回は英語訳なので、方言の表記ではなく、方言を用いて発せられた発話

私に帰します。翻訳するにあたり越えなければならぬ壁になったのは、次のような事柄です。

▶「郷土料理」という語の訳

タイトルは *the local cuisine* としましたが、本文や字幕では *food* や *dish* を使いました。具体的な料理を指すのは後者ですが、郷土料理のスタイルそのものを問題にする場合は *cuisine* からです。

▶郷土料理の三品を説明するための訳

特に難しかったのは【茄子のずんだあえ】と【きしやずいり】でした。「ずんだ」と「きしやず」は東北の方言だからです。「ずんだ」の語源は糠みそを意味する「じんだ（糶汰）」です。東北地方で意味を変化させて、枝豆のペーストを表すようになったと考えられています。東北方言の「きしやず」の語源は豆腐を「きらず（切らず）」であるという説があります。こうした語源の解説も重要ですが、英語訳では料理の特徴の説明に徹することにしました。と

たのではないかと思えます。

以上のように、方言クッキングの英語字幕には改善の余地がかなりあります。その作業は方言クッキングを企画した私が担うべきかもしれません。

けれども、私だけでなく、方言クッキングの映像を視聴したひとり一人がチャレンジしても良いように思えます。今回の字幕とは違う英語で名取の郷土料理を紹介したいという理由はもちろん、映画のなかの視覚情報や聴覚情報を使って英文の勉強がしたいというような理由でも結構です。どのような理由であれ、何らかのかたちで方言クッキングに関心が集まれば、被災地の方言と郷土料理という地域の文化に対しても、それだけ理解が深まるはずだと考えます。

方言クッキングを「世界に発信」するのは、私や「方言を語り残そう会」だけではありません。東日本大震災の被災地に思いを寄せるみなさんも含まれているのです。

の意味内容を抽出して英語に置き換えることになりました。とはいっても、英語字幕を付ける発話の選択や翻訳内容についての悩みは尽きません。これは方言や共通語の区別なく日本語と英語という異なる言語を対応させることで生じるジレンマです。

たとえば、【きしやずいり】の食材を炒めるシーンで「かんまかす」が使われます。字幕では stir を当てました



しかしながら、食材が四方八方にかき混ぜられている様子を映像で見ると、stir ではない別の動詞か、あるいはもう少し情報を補足する字幕が必要だっ

文化庁委託事業報告書
被災地方言の保存・継承のための
方言の記録と公開 3

2020年（令和2年）3月12日 印刷

2020年（令和2年）3月18日 発行

編者 東北大学方言研究センター
発行所 東北大学大学院文学研究科国語学研究室
〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 TEL 022(795)5987

東北大学大学院文学研究科
東北大学方言研究センター